

となりの会社はどうしてる？

職場の居心地WEB調査

2024年版

PLUS Furniture Company

もくじ

テーマ：離れて座っていることによる課題 6ページ

「同じ部署やチームのメンバーが離れて座っている」ことによる課題を感じたことはありますか。

スムーズに仕事を進めるにあたって、フリーアドレス制のオフィスであっても、「同じ部署やチームのメンバーと近くの席で働く」機会は必要だと思いますか。理想的と感じる頻度をお答えください。

予約制の席と、フリーで座れる席の割合は、どれくらいが理想的だと思いますか。

フリーで座れる席には、どのような要素が欲しいと思いますか。

テーマ：昼寝のメリット、頻度や長さ 11ページ

職場で『昼寝』をすると、作業効率の向上などの良い効果が得られると思いますか。

ご自身の職場で昼寝をしていますか？

職場で昼寝をするとき、どのくらいの時間眠りますか。

職場での昼寝から目を覚ますとき、以下のような課題を感じることはありますか。

「昼寝からの起床時に感じる課題」上位2項目×「一回あたりの昼寝時間の長さ」クロス集計

もくじ

テーマ：会社を誰かに自慢できるか 17ページ

あなたが現在勤める会社には、誰かに「自慢できる」と思うところがありますか。

自慢できると思うポイントとして、当てはまるものをすべてお答えください。

特に自慢できると思う点を具体的に教えてください。

どんなポイントが改善されれば、良くなると思いますか。当てはまるものをすべてお答えください。

「会社に自慢できることがあるか」×「現在の会社に長く勤めたいか」クロス集計

テーマ：理想の打合せレイアウト 23ページ

あなたは、打合せスペースの居心地の悪さが原因で、「話しづらい」「場所を変えたい」などと思ったことはありますか。

話しづらさを感じたときの具体的なシチュエーションを教えてください。

あなたは、以下のようなシチュエーションで打合せを行うとき、どのようなスペースなら話しやすいと感じますか。

1. 上司に言いづらいことを報告するとき
2. 同僚とアイデア出しをするとき
3. 後輩に困っていることがないかヒアリングするとき
4. 部門長へプレゼンするとき

もくじ

テーマ：自分が働く企業の“サステナ”活動 35ページ

あなたが勤める企業はサステナビリティへの取り組みに積極的だと思いますか？

「自分が勤める会社はサステナビリティ活動に積極的だと思うか」×「この会社を親しい友人・知人に勧めたいと思うか」クロス集計

あなたは、サステナビリティ活動に関して、企業に何を求めますか？

環境に配慮したオフィス家具があることで、サステナビリティへの取り組み意識が変わると思いますか？

テーマ：オフィスの収納 40ページ

あなたが勤める企業はサステナビリティへの取り組みに積極的だと思いますか？

「自分が勤める会社はサステナビリティ活動に積極的だと思うか」×「この会社を親しい友人・知人に勧めたいと思うか」クロス集計

あなたは、サステナビリティ活動に関して、企業に何を求めますか？

環境に配慮したオフィス家具があることで、サステナビリティへの取り組み意識が変わると思いますか？

もくじ

テーマ：フリーアドレスデスクの清潔さ 46ページ

固定席からフリーアドレスデスクにかわり、以前と比較してデスクやイス等の清潔さや状態を気にするようになりましたか？

デスクの清潔さが以前よりも気になるようになった具体的な理由

清潔さや整頓状況という観点において、具体的にはどのような点を気にしたことがありますか？

フリーアドレスデスクの使用前や使用後に気になる箇所があった場合、何かご自身で対処していることはありますか？

テーマ：今年の忘年会、どうする？ 51ページ

あなたの職場では、今年の忘年会はどのように実施されますか？

今年の忘年会に参加したいと思いますか？

忘年会が職場のチームワークや文化にどの程度影響を与えとお考えですか？

忘年会に参加するかどうかを決める要因はどれですか？

Theme | 離れて座っていることによる課題

フリーアドレス経験者の

79.3% は、

同じ部署の人たちと
近くの席で働く
時間もほしい

職場の居心地 WEB 調査



皆さんの職場では、「フリーアドレス制」を導入したことや、導入を検討されたことはありますか？

固定席を持たず自由に座席を選択できるフリーアドレス制には、部門の垣根を越えたコミュニケーション促進などのメリットがありますが、一方で「同じ部署のメンバーと集まって座る機会が減った」という声も耳にします。そこでフリーアドレス経験者300名を対象に、「部署やチームのメンバーが離れて座っていることによる課題」などを尋ねるアンケート調査を実施しました。

[アンケート実施情報]

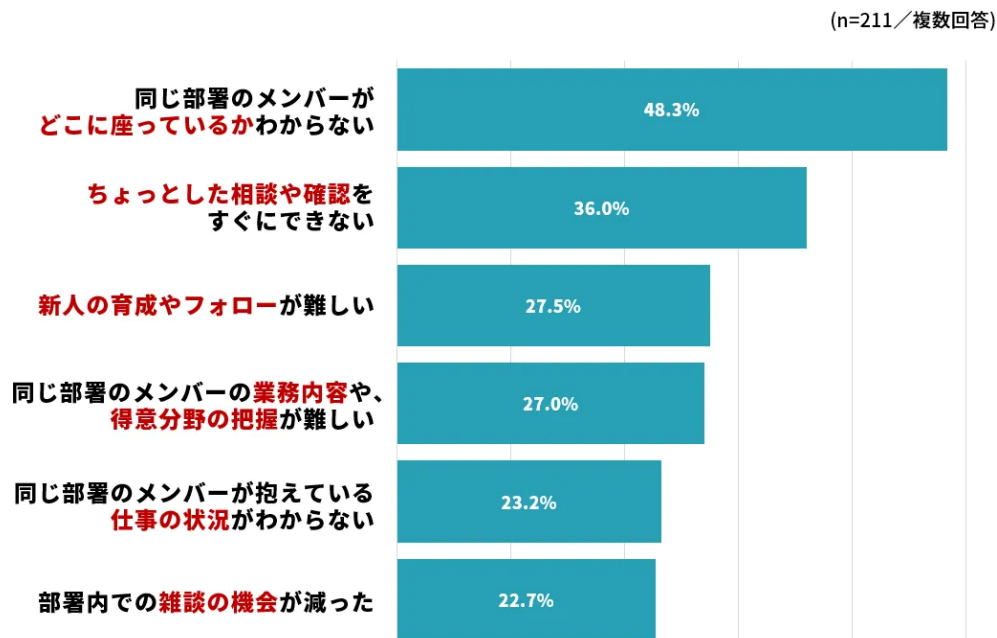
方法：インターネット調査

回収日：2023年12月27日

対象：従業員数100名以上のオフィスで働く、デスクワークを含む業務を行う勤続年数3年以上の会社員、公務員

サンプル数：300人

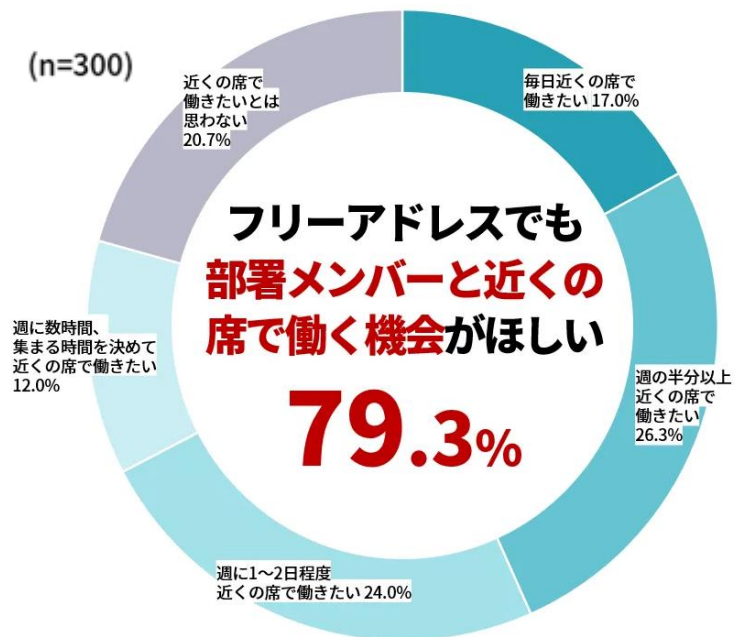
フリーアドレスオフィスで働いている方／働いた経験のある方にお伺いします。
「同じ部署やチームのメンバーが離れて座っている」ことによる課題を感じたことはありますか。



「部署やチームのメンバーが離れて座っている」ことによる課題を感じたことがあるかを尋ねたところ、70.3%が「ある」と回答しました。課題の内訳を見ていくと「同じ部署のメンバーがどこに座っているかわからない」が48.3%で最も多く、「ちょっとした相談や確認をすぐにできない」「新人の育成やフォローが難しい」と続きました。

フリーアドレス制のメリットの一つに「部署の垣根を越えた偶発的なコミュニケーションを生む」ことがある一方で、同じ部署のメンバーが離れて座ることに対して課題を感じている人は約7割と多いようです。

スムーズに仕事を進めるにあたって、フリーアドレス制のオフィスであっても、「同じ部署やチームのメンバーと近くの席で働く」機会が必要だと思いますか。理想的と感じる頻度をお答えください。



【年代別】フリーアドレス制であっても、
同じ部署のメンバーと近くの席で働きたいと思うか

	n数	毎日常近の席で働きたい	週の半分以上近くの席で働きたい	週に1~2日程度近くの席で働きたい	週に数時間、集まる時間を決めて近くの席で働きたい	近くの席で働きたいとは思わない
全体平均	300	17.0%	26.3%	24.0%	12.0%	20.7%
20代	90	15.6%	25.6%	25.6%	8.9%	24.4%
30代	81	17.3%	30.9%	25.9%	9.9%	16.1%
40代	53	15.1%	20.8%	30.2%	11.3%	22.6%
50代	53	17.0%	30.2%	15.1%	13.2%	24.5%
60代以上	23	26.1%	17.4%	17.4%	30.4%	8.7%

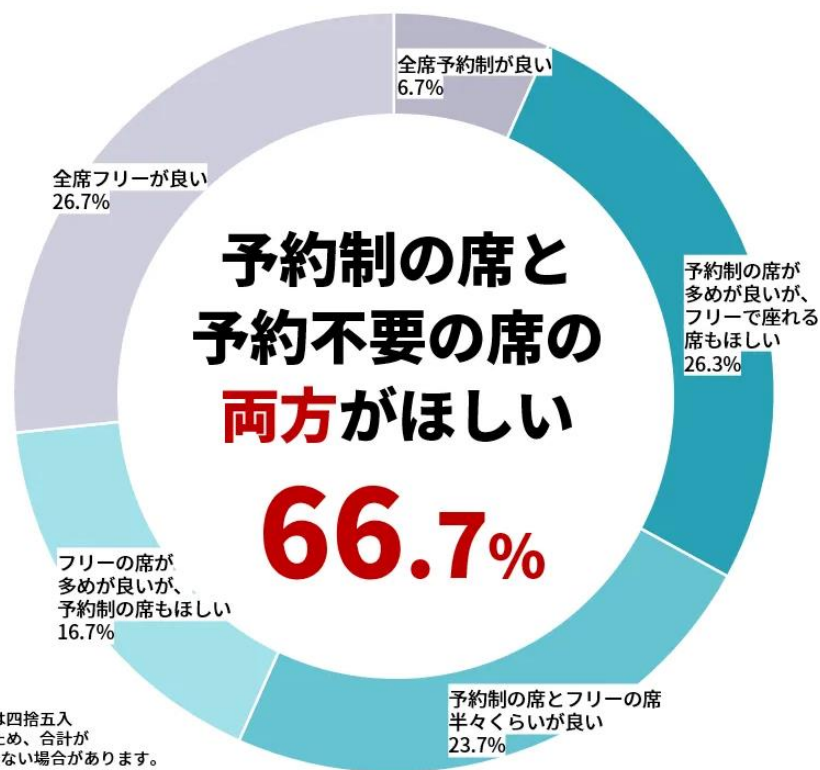
※オレンジセル=全体平均より8ポイント以上高いまたは低い

「近くの席で働きたい」（＝グラフ青緑部分）は79.3%で、頻度の差はあれど多くの方がそのように考えていることが分かりました。男女別の回答に大きな差は見受けられませんでした。年代別では差が出ており、60代以上で「毎日」が全体より9.1ポイント高く、「働きたいとは思わない」が12.0ポイント低い結果となりました。

約8割の人は部署メンバーと近くの席で働きたいと考える一方、一般的なフリーアドレスオフィスでは全員で座る席の確保は難しいため、チーム予約の仕組みを設けるなど、運用面での工夫が必要になりそうです。

予約制の席と、フリーで座れる席の割合は、どれくらいが理想的だと思いますか。

(n=300)



予約制・予約不要の席、両方がほしい

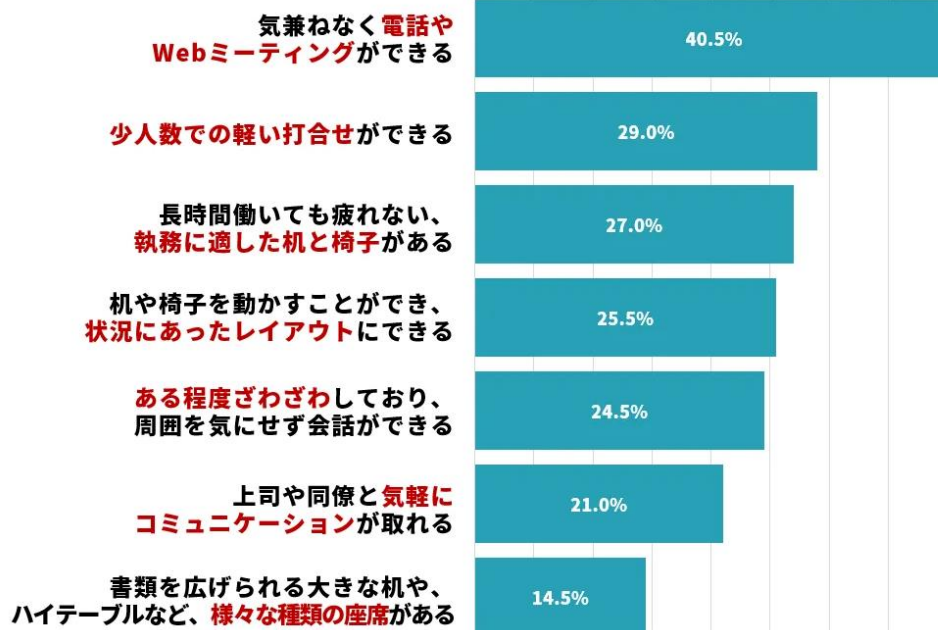
66.7 %

「予約制の席が多めが良いが、フリーで座れる席もほしい」「予約制の席とフリーの席半々くらいが良い」「フリーの席が多めが良いが、予約制の席もほしい」の合計（＝グラフ青緑部分）が66.7%となりました。

どちらか一方ではなく両方を望む回答が過半数を占めました。「全席予約制が良い」と答えた人は6.7%と少なく、反対に「全席フリーが良い」と答えた人は4分の1程度でした。

「予約制の席とフリーの席の両方がほしい」とお答えになった方にお伺いします。
フリーで座れる席には、どのような要素が欲しいと思いますか。当てはまるものを全て
お選びください。

(n=200／複数回答)



「予約制の席とフリーの席の両方がほしい」と回答した人を対象に、「予約不要の席」に求める要素について複数回答で尋ねたところ、最も多くの回答を集めたのは「気兼ねなく電話やWebミーティングができる」で、以降はほぼ横並びの結果となりました。

ただし、「打合せができる」ことや「長時間働いても疲れない」ことなどニーズが分散していることから、用途を限定せず、会話や打合せも気兼ねなくできる活気ある空間をつくることが求められていそうです。

Theme | 昼寝のメリット、頻度や長さ

職場で週に一回以上
昼寝をする人は

35.4%

職場の居心地 WEB 調査



「15分程度の短い仮眠が仕事のパフォーマンスを高める」といった話をよく耳にしますが、皆さんは職場で『昼寝』をとっていますか？

「毎日昼寝している」という方もいれば、「昼寝に良い効果があると知っていても、実際はできていない……」という方も多いのでは。

そこでデスクワーク中心の会社員500名を対象に、「昼寝が作業効率向上に与えるメリット」や「昼寝の頻度や長さ」などを尋ねるアンケート調査を実施しました。

[アンケート実施情報]

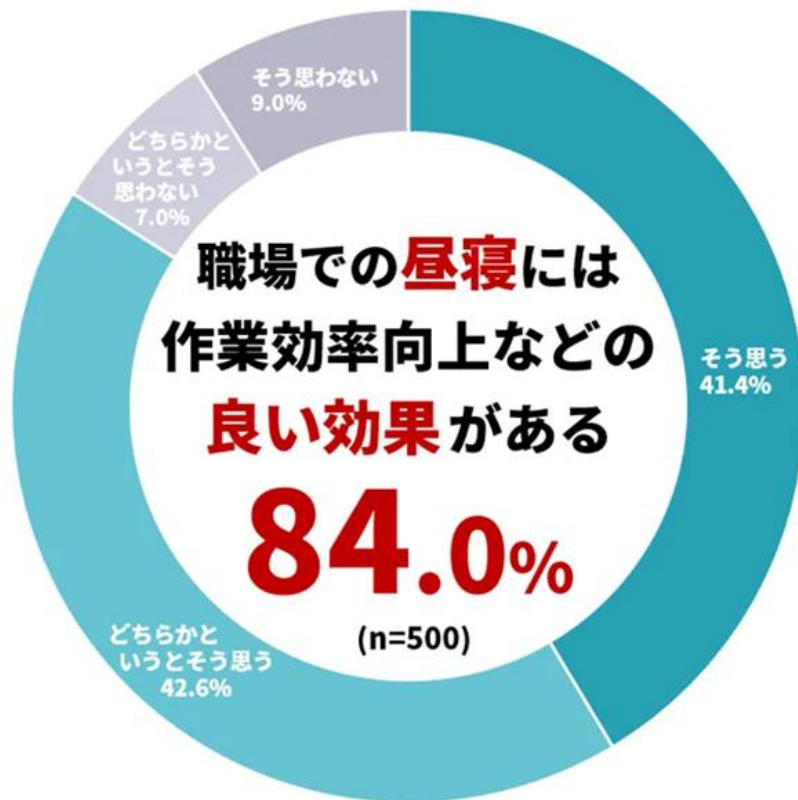
方法：インターネット調査

回収日：2023年12月18日

対象：従業員数100名以上のオフィスで働く、デスクワークが中心の、フルリモートワークではない日本全国の会社員
サンプル数：500人



あなたは、職場で『昼寝』をすると、作業効率の向上などの良い効果が得られると思いますか。



昼寝には良い効果がある

84.0 %

「職場で『昼寝』をすると、作業効率の向上などの良い効果が得られると思うか」と尋ねたところ、84%が「ある」と回答しました。

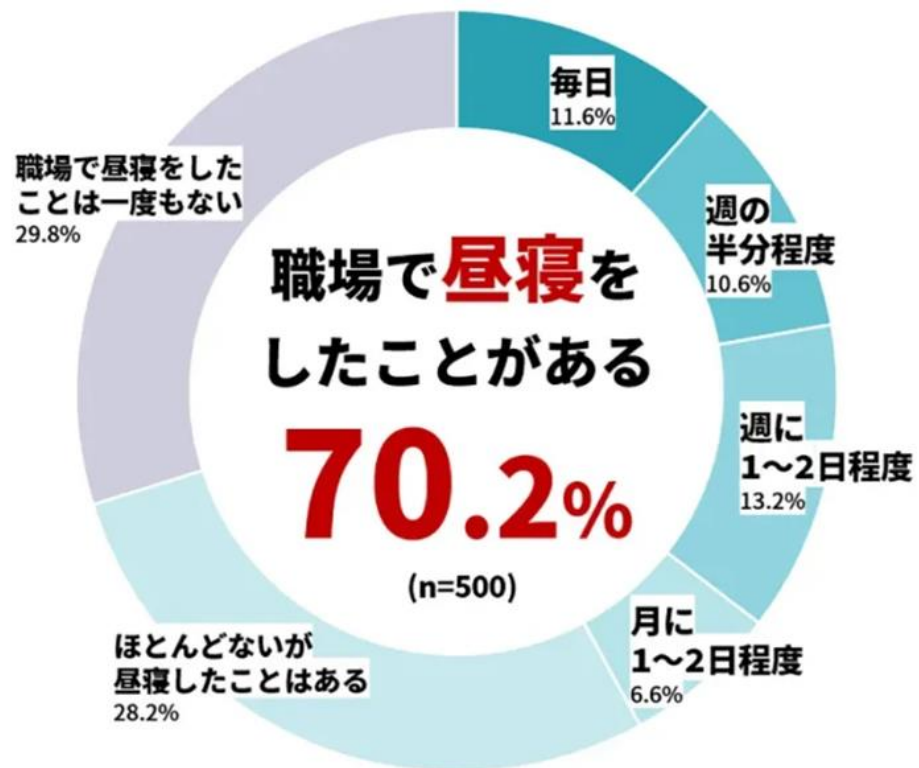
84%の人が職場での昼寝に良い効果があると考えており、昼寝が生産性に与える効果を認めているようです。

以前の調査（下記参考データ参照）では、「仮眠スペース」や「昼寝制度」導入の課題についても訊いていますので、そちらの記事も併せてご覧ください。

<https://kagu.plus.co.jp/3618/>



あなたは、ご自身の職場で昼寝をしていますか？



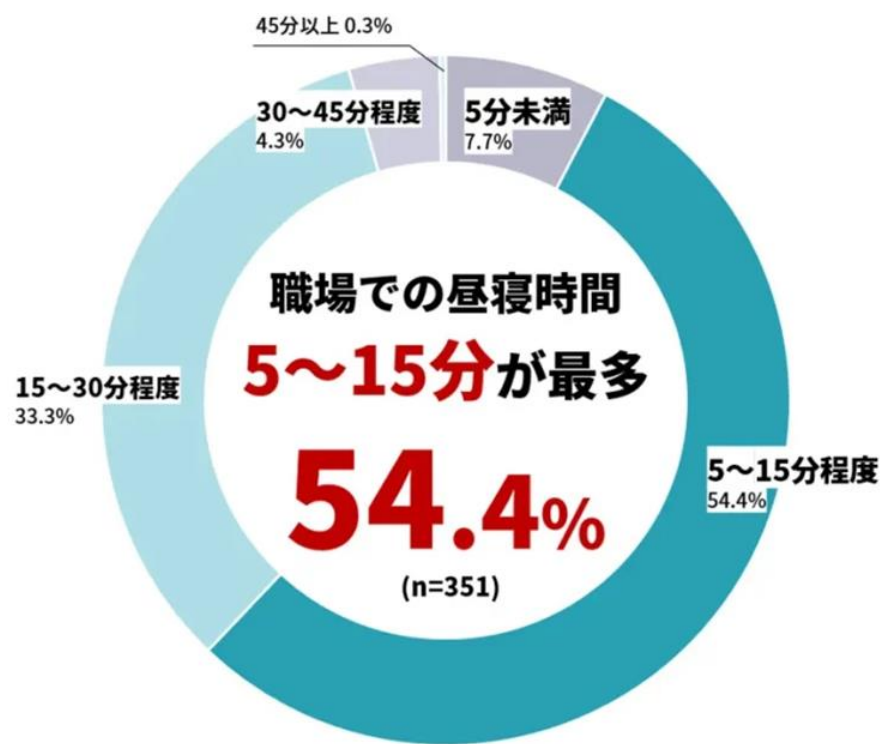
職場で昼寝をしたことがある

70.2 %

「毎日」「週の半分程度」「週に1~2日程度」「月に1~2日程度」「ほとんどないが昼寝したことはある」の合計（＝グラフ青緑部分）は70.2%で、頻度の差はあれど職場で昼寝をとった経験のある人が多いことがわかりました。

「職場で週に一回以上昼寝をする」人が35.4%という結果になりましたが、皆さんの職場ではいかがでしょうか。多くの人が昼寝のメリットを認めている一方で「職場で昼寝をしたことが一度もない」という人も29.8%いるようです。

職場で昼寝をしたことがあると回答した方にお伺いします。
あなたは職場で昼寝をするとき、どのくらいの時間眠りますか。



職場での昼寝時間は5～15分

54.4 %

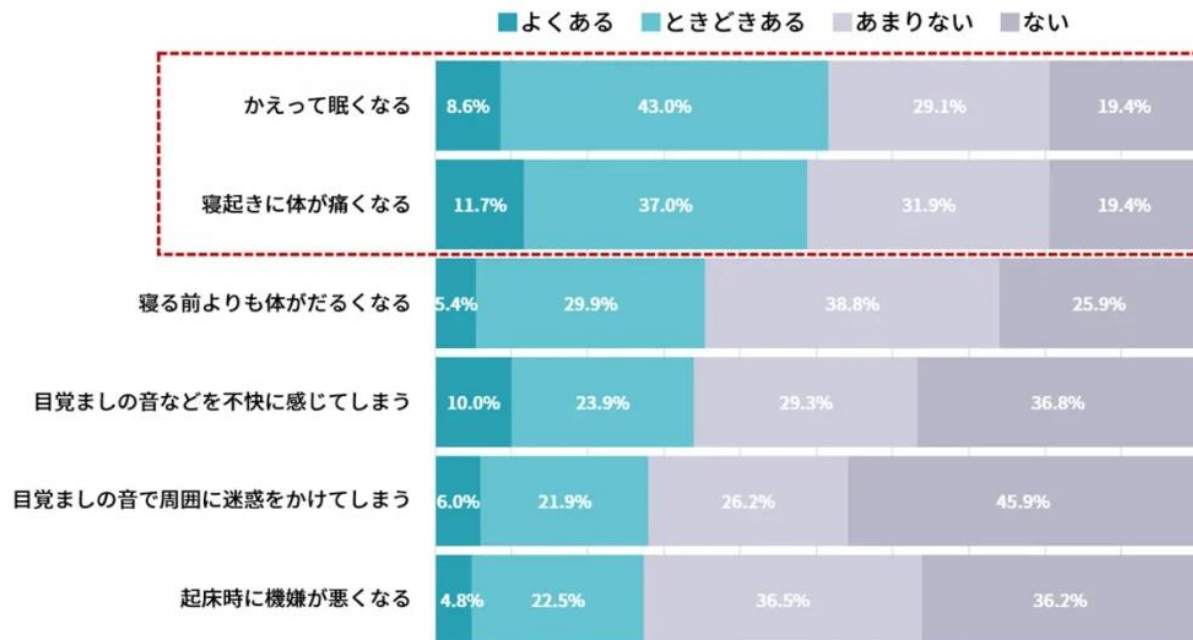
職場で昼寝したことがあると回答した351名に対し「一回あたりの昼寝時間の長さ」を尋ねたところ、「5分未満」が7.7%、「5～15分程度」が54.4%、「15～30分程度」が33.3%、「30～45分程度」が4.3%、「45分以上」が0.3%となりました。

職場での昼寝を「5～15分」「15～30分」といった短時間で済ませる人（＝グラフ青緑部分）が多いようです。



あなたは、職場での昼寝から目を覚ますとき、以下のような課題を感じることはありますか。

(n=351)



職場で昼寝したことがあると回答した351名に対し、昼寝からの起床時に感じる課題について尋ねたところ、「かえて眠くなる」が51.6%で最も多く、次に「寝起きに体が痛くなる」が48.7%で続きました。

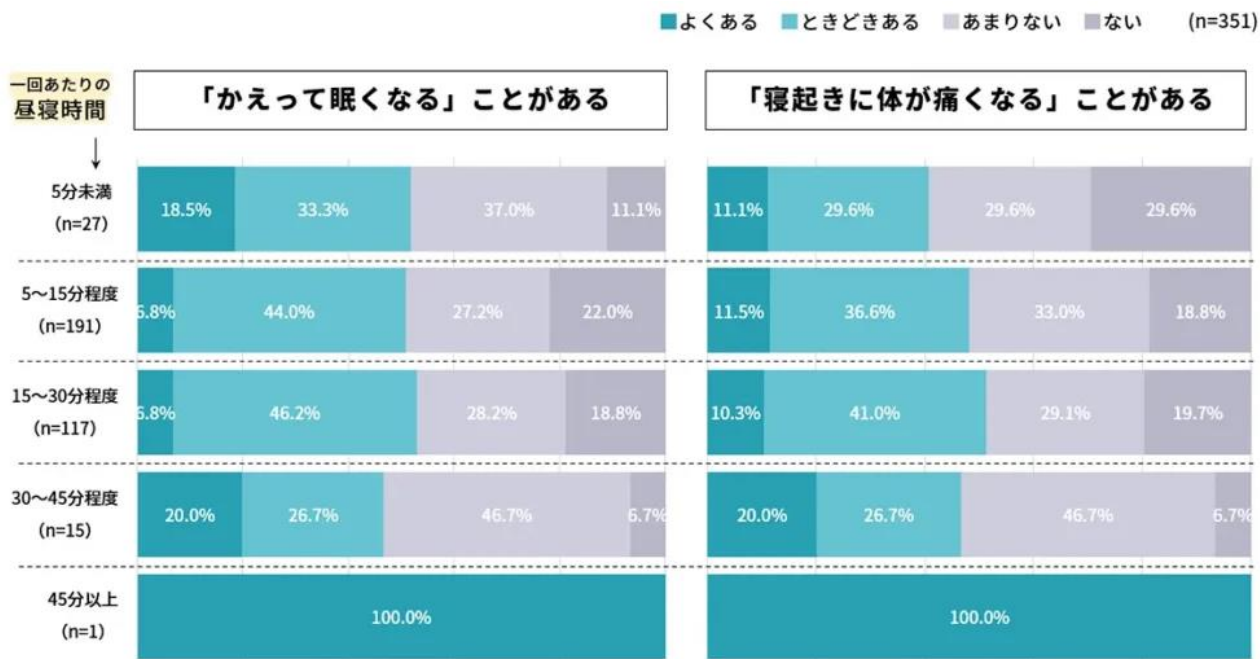


「昼寝からの起床時に感じる課題」 上位2項目

×

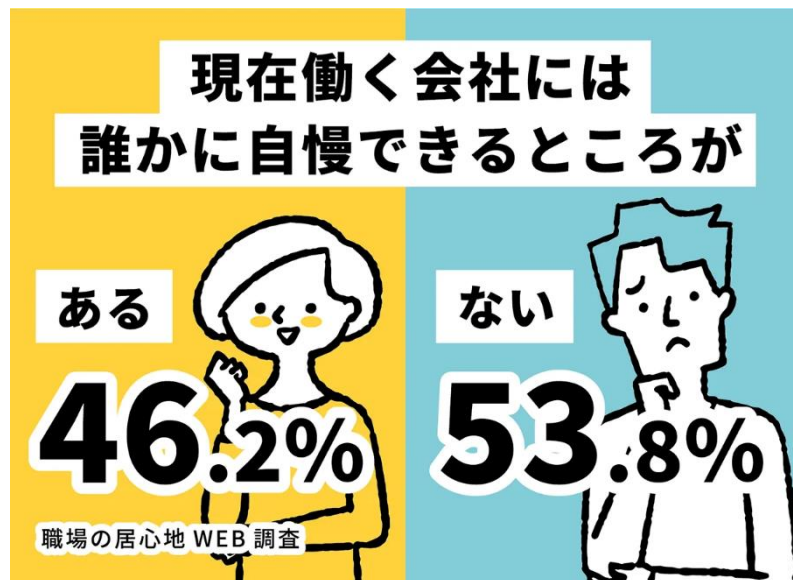
「一回あたりの昼寝時間の長さ」 クロス集計

(n=351)



起床時に感じる課題上位2つ「かえって眠くなる」「寝起きに体が痛くなる」について、昼寝時間の長さとの関連を調べるためクロス集計を行いました。時間別で比較したとき特段大きな差は見受けられませんが、「かえって眠くなる」について「5～15分程度」「15～30分程度」では「よくある」と回答した人が他と比べ少なく、「30～45分程度」を越えると両項目で「よくある」の回答者が20%を超えといった特徴が見られました。

Theme | 会社を誰かに自慢できるか



あなたが現在働いている会社には、「誰かに自慢できる」と思うところがありますか？

今回は、デスクワーク中心の会社員500名を対象に、「自慢できるポイント」や「改善してほしいポイント」、「今の会社に長く勤めたいか」などを尋ねるアンケート調査を実施しました。

[アンケート実施情報]

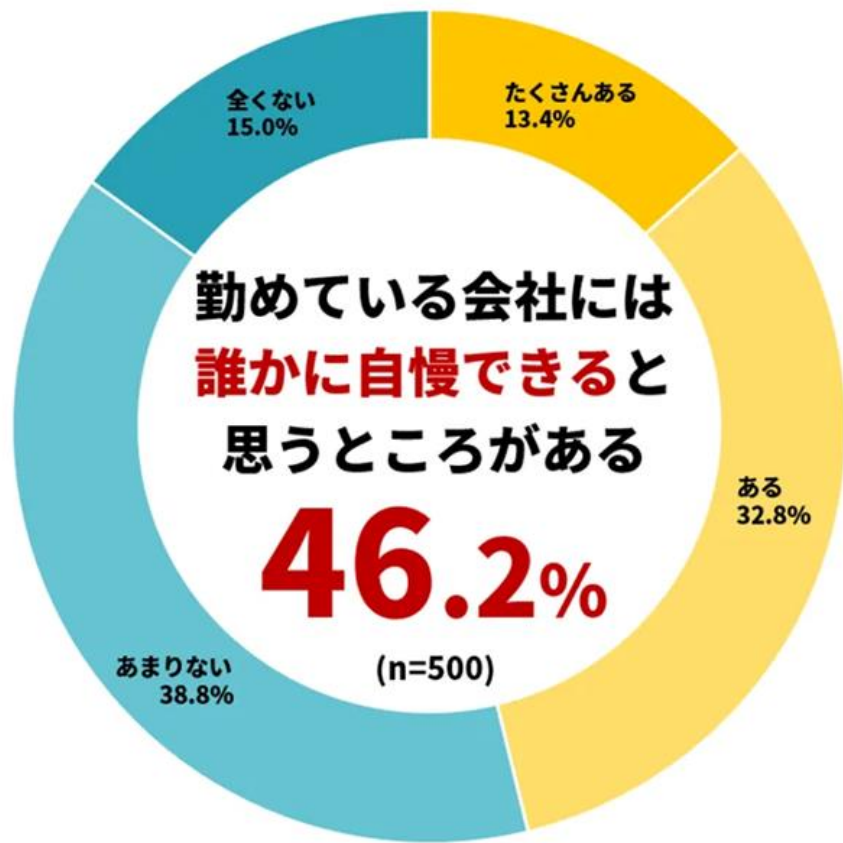
方法：インターネット調査

回収日：2024年3月26日

対象：従業員数100名以上のオフィスで働く、デスクワークが中心の、フルリモートワークではない日本全国の会社員
サンプル数：500人



あなたが現在勤める会社には、誰かに「自慢できる」と思うところがありますか。



努めている会社には
誰かに自慢できると思うところがある

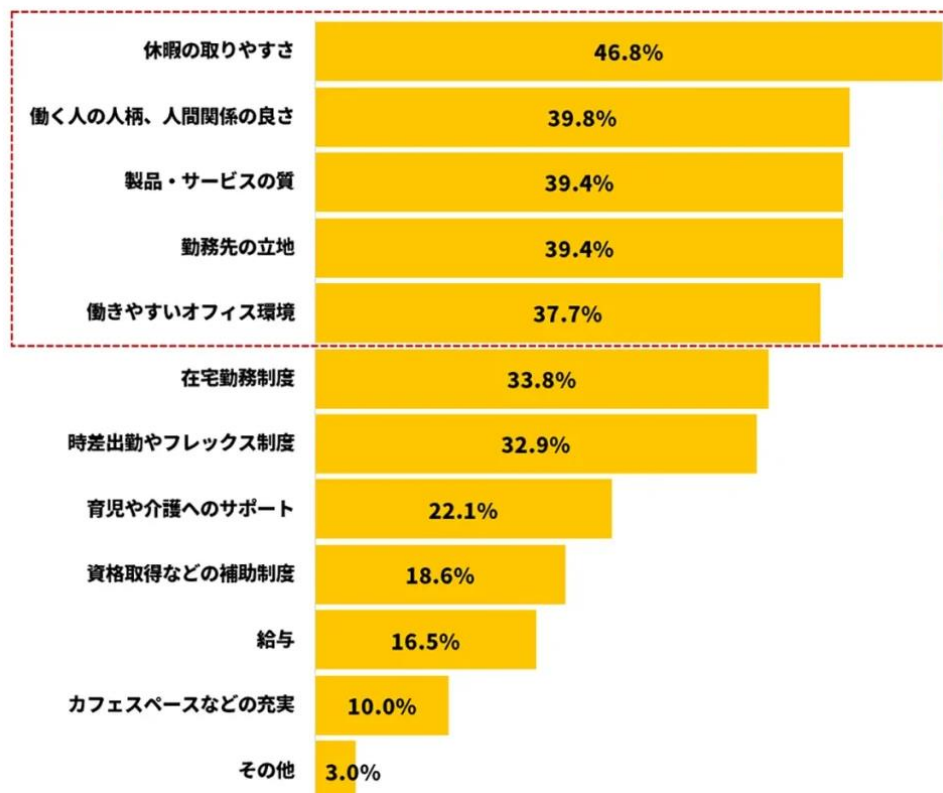
46.2 %

「あなたが現在勤める会社には、誰かに自慢できるところはありますか」と尋ねたところ、「たくさんある」「ある」の合計が46.2%、「あまりない」「全くない」の合計が53.8%となりました。

自慢できるところが「ない」人の割合が「ある」人の割合をやや上回る形となりましたが、ほぼ半々の結果になりました。

自慢できるところが「たくさんある」「ある」とお答えになった方にお伺いします。
自慢できると思うポイントとして、当てはまるものをすべてお答えください。

(n=231／複数回答)



「休暇の取りやすさ」が1位

46.8 %

自慢できるところが「ある」「たくさんある」と回答した231名に対し『自慢できるポイント』を複数回答で尋ねたところ、「休暇の取りやすさ」「働く人の人柄、人間関係」「製品・サービスの質」「勤務先の立地」「働きやすいオフィス環境」が上位5項目となりました。

自慢できること1位は「休暇の取りやすさ」でした。仕事とプライベートとの両立を重要なポイントとして捉えている人が多いのかもしれませんが、「人間関係の良さ」や「働きやすいオフィス環境」についても、約4割の人が自慢できるポイントとして挙げているようです。

自慢できるところが「たくさんある」「ある」とお答えになった方にお伺いします。
特に自慢できると思う点を具体的に教えてください。

(n=231)

■製品やサービスの質、事業内容が良い

「地域に貢献し、**地域の発展に役立っている**と思う」

「サステナビリティに配慮した環境志向の最先端の製品を**世界に率先して作っている**」

■企業としての歴史や安定性が自慢

「**創業後90年以上**たった。もっと歴史のある会社もあるが、長い部類ではないかと思う」

■働く人の人柄、人間関係が良い

「穏やか、さばさばしている人が多いので**人間関係も適切な距離感で良い**」

「人柄の良い人が多く、**円滑なコミュニケーション**を取りながら仕事を進められる。困りごとがあった時も周りや上司に相談して解決に向かうことができる」

■意見交換がしやすく、チームで問題を解決できる

「職位によらず、**正しいと考えることを主張できる**」

「何か課題が発生すると、**いろんな部署を巻き込んだ対応**が取りやすい」

■オフィス環境が良い

「**オフィスが綺麗**」

「**フリースペースがあり**同僚や上司との雑談で関係を深められる」

「コロナ以降、働き方改革が広がり、**社内や社外にワークスペースがたくさん出来て**働きやすくなったこと」

■休暇が取りやすい

「子育て世代が多く、**突然の休暇取得にも寛容**」

「**有給休暇の取得率が高く**、若い人達も働きやすい環境にある」

■資格補助制度などが整っている

「**資格取得には積極的に支援**しており、場合によっては全額が会社負担してくれます」

「**自己研鑽に対する補助金制度**などが充実している」

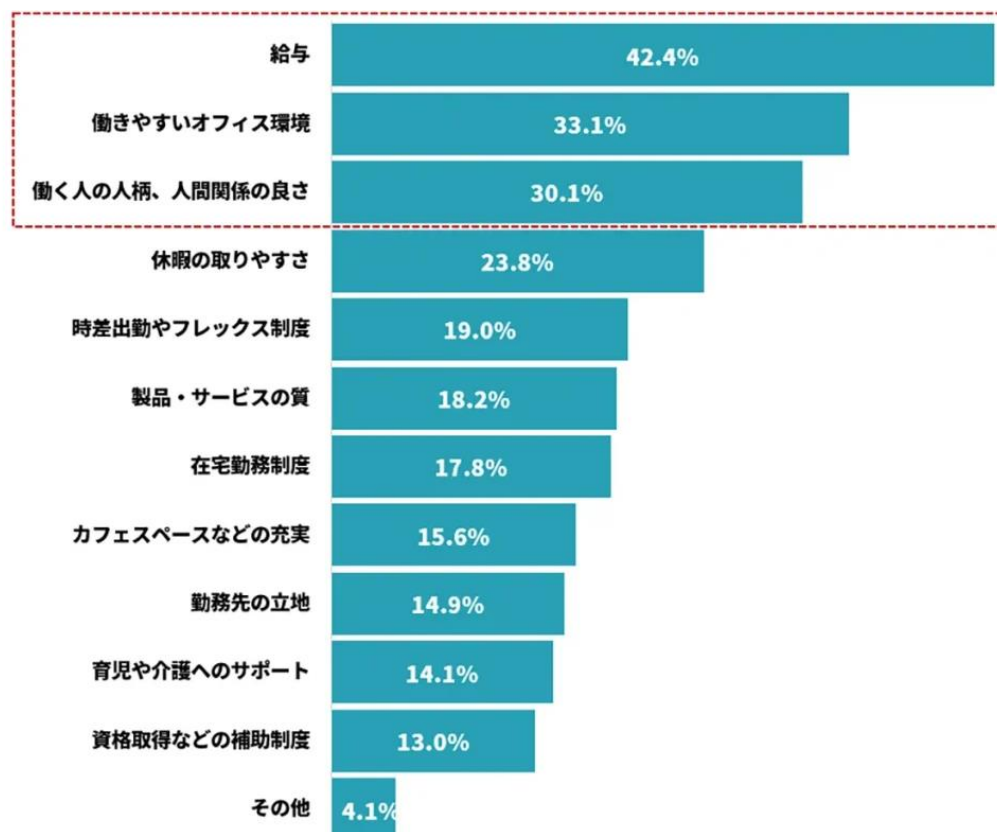
■食事の補助が充実している

「**社内食がレストラン並みに充実**しており様々な種類があって、しかも価格が安い」

「カフェスペースがあり、自動販売機の飲み物やお菓子が**飲み・食べ放題**なところ」

自慢できるところが「あまりない」「全くない」とお答えになった方にお伺いします。
どんなポイントが改善されれば、良くなると思いますか。当てはまるものをすべてお答えください。

(n=269／複数回答)



「給与」が1位

42.4 %

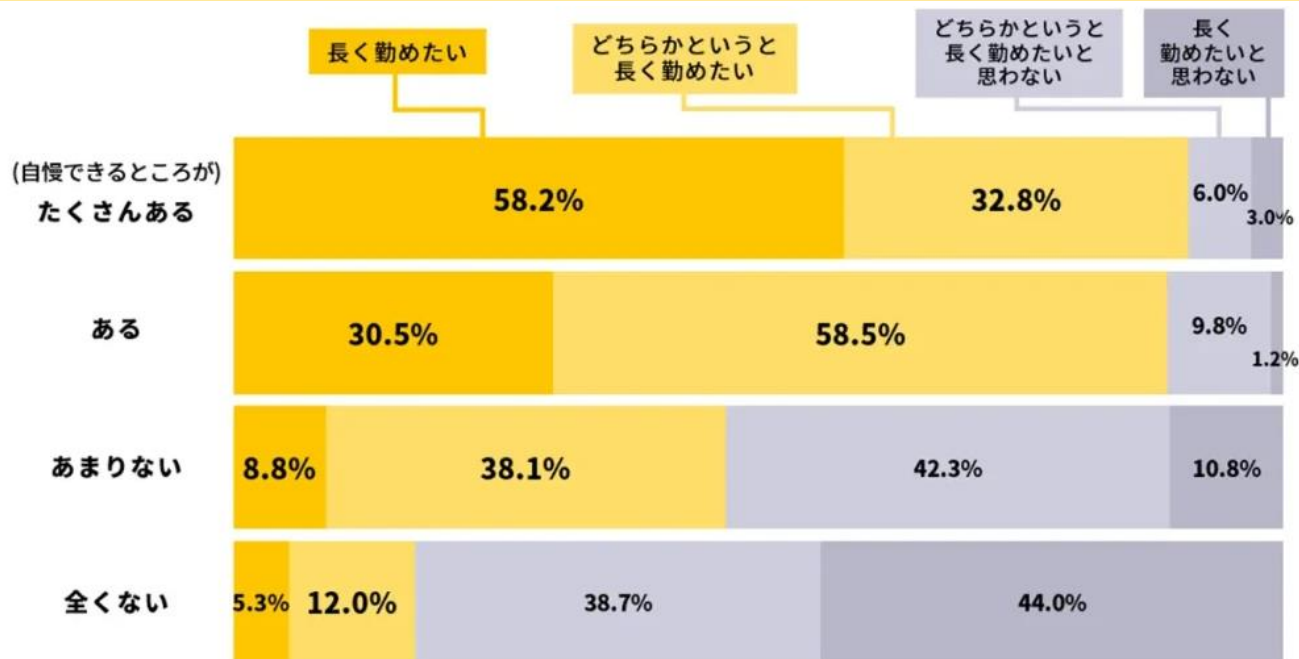
自慢できるところが「あまりない」「全くない」と回答した269名に対し『改善してほしいポイント』を複数回答で尋ねたところ、「給与」「働きやすいオフィス環境」「働く人の人柄、人間関係の良さ」が上位3項目となりました。

改善してほしいこと1位は「給与」でした。「人間関係の良さ」と「働きやすいオフィス環境」は改善してほしいポイント・自慢できるポイントの両方で上位に挙がっており、関心の高さが伺えます。



あなたは、現在勤める会社に「長く勤めたい」と感じますか？

(n=500)



「現在の会社に長く勤めたいと思うか」と尋ね、「会社に自慢できるところがあるか」とのクロス集計を行いました。自慢できるところが「たくさんある」グループでは「長く勤めたい」「どちらかというolongく勤めたい」の合計が91%であったのに対し、「全くない」グループでは17.3%に留まりました。自慢できるところがある人と、そうでない人との差が大きく開く形となりました。

前問でポイントとして挙がっていた「人間関係の良さ」は一朝一夕で改善できるものではありませんが、「働きやすいオフィス環境」など変化が目に見えてわかるものから取り組んでいくことは有効だと考えられます。

Theme | 理想の打合せレイアウト

「打合せスペースの
居心地が悪くて
話しづらい…」

と感じたことがある

44.4%

職場の居心地 WEB 調査



あなたが現在働いている会社には、目的に合わせて選べる打合せスペースはありますか？

一口に『打合せ』と言っても、シチュエーションはさまざま。周りに誰もいない環境で話したい内容があれば、開放的な雰囲気の中で話したい！と感じる内容もありますよね。

今回は、デスクワーク中心の会社員500名を対象に、「シチュエーション別の”理想の打合せレイアウト”」を尋ねるアンケート調査を実施しました。

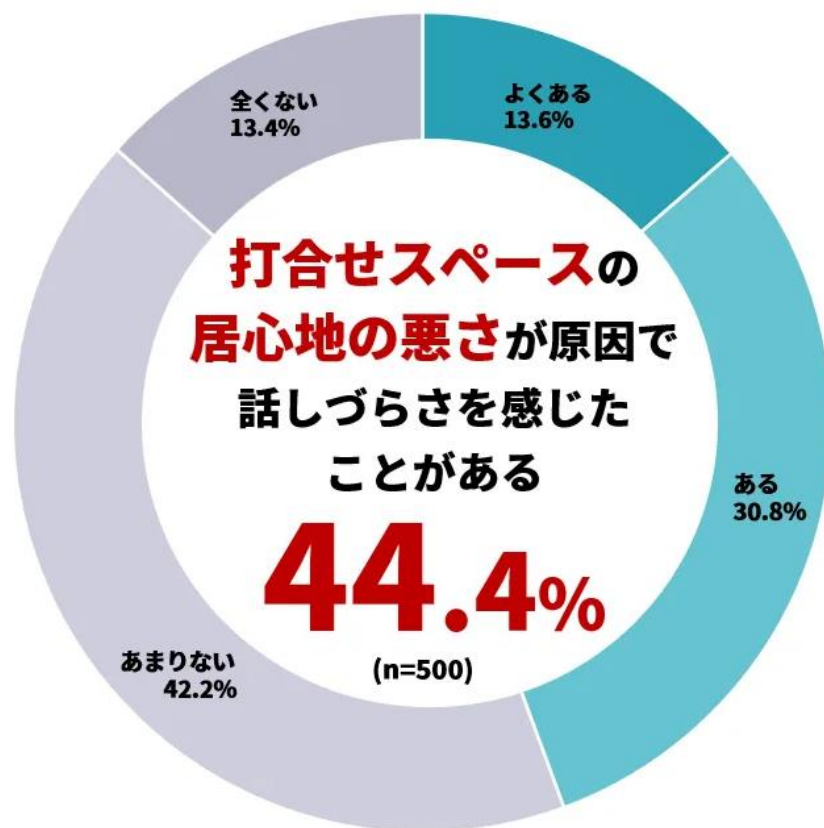
[アンケート実施情報]

方法：インターネット調査

回収日：2024年6月17日

対象：従業員数100名以上のオフィスで働く、デスクワークが中心の、フルリモートワークではない日本全国の会社員
サンプル数：500人

あなたは、打合せスペースの居心地の悪さが原因で、
「話しづらい」「場所を変えたい」などと思ったことはありますか。



打合せスペースの「居心地の悪さ」が原因で
話しづらさを感じたことがある

44.4 %

はじめに、打合せスペースの居心地の悪さが原因で「話しづらい」「場所を変えたい」と思ったことがあるかを尋ねたところ、「よくある」「ある」の合計が44.4%、「あまりない」「全くない」の合計が55.6%となりました。



話しづらさを感じたときの具体的なシチュエーションを教えてください。

■周囲の人に聞かれたくない

「産業医との面談で、話し声が周りに聞こえそうだったので言いたいことが言えなかった」

「あまりオープンスペースで話したくない内容の時に、オープンスペースしか空き場所が無い状況」

■周囲の騒音が気になり集中できない

「少人数でディスカッションをしていたとき、当初は静かだったのだが、段々と周囲が騒がしくなってきたときは、独立している部屋ですればよかったと後悔した」

「回りの音や話し声が気になって、もっと静かな環境に移りたいと思った」

■圧迫感があり緊張してしまう

「正面を向いての上司との面談は圧迫感を感じるため横に座るなど席を変えたいとすることが多々あった」

「二人用のミーティングスペースは、スペースとしては十分ではあるのだけど空間としては圧迫感があるので、重たい話をするときには、かえって雰囲気重くなってしまいがち」



約4割の人が、「打合せスペースの居心地が悪くて話しづらい……」と感じた経験があるようです。

そのときの具体的なシチュエーションを尋ねたところ、周囲の人に会話の内容を聞かれたくない、周囲の騒音が気になり集中できない、圧迫感があり緊張してしまうといった声が寄せられました。

あなたは、以下のようなシチュエーションで打合せを行うとき、
どのようなスペースなら話しやすいと感じますか。

◆今回の調査で提示したシチュエーション

本アンケートでは、回答者により具体的なシチュエーションを想定していただくため、以下4つのシチュエーションを提示しました。

1. 上司に言いづらいことを報告するとき
2. 同僚とアイデア出しをするとき
3. 後輩に困っていることがないかヒアリングするとき
4. 部門長へプレゼンするとき



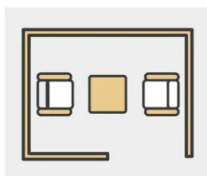
上記それぞれについて、“囲われ感”、“座席配置”、“距離感”という3つの項目で回答を集め、その結果を集計しました。1つ目のシチュエーションから順に紹介していきます。



上司に言いづらいことを報告するとき

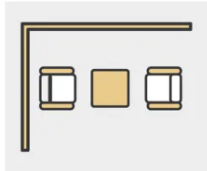
「上司に言いづらいことを報告するとき」
理想の”**囲われ感**”は？ (n=500)

1
囲われている



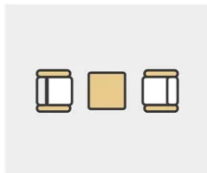
72.2%

2
一部が
囲われている



15.2%

3
囲われていない
(オープン)



12.6%

「上司に言いづらいことを報告するとき」
理想の”**座席配置**”は？ (n=500)

1
対面



56.4%

2
90度



31.8%

3
横並び



7.2%

4
扇形

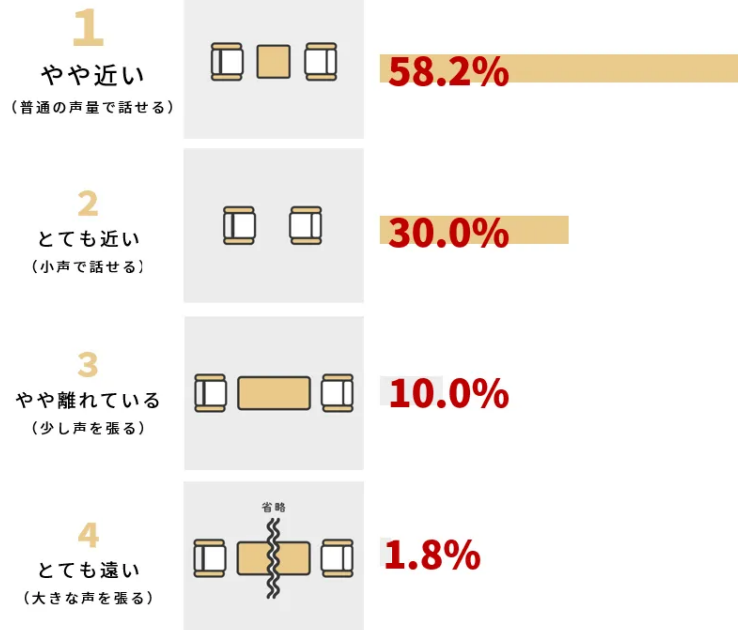


4.6%

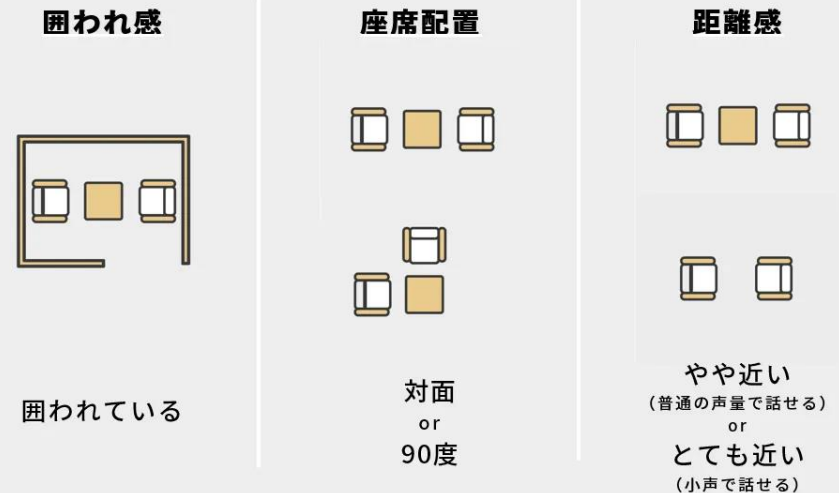


上司に言いづらいことを報告するとき

「上司に言いづらいことを報告するとき」
理想の”相手との距離感”は？ (n=500)



「上司に言いづらいことを報告するとき」
“理想のレイアウト”アンケート結果 (n=500)



“囲われ感”という項目では「囲われている」が多数を占め、“座席配置”では「対面」と「90度」、”距離感”では「やや近い」と「とても近い」に票が集まりました。

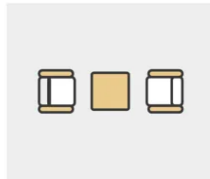
※30%以上の票を集めた項目を黄色で表現しています（以下同様）



同僚とアイデア出しをするとき

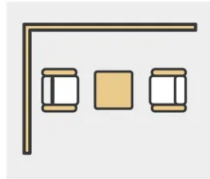
「同僚とアイデア出しをするとき」
理想の”**囲われ感**”は？ (n=500)

1
囲われていない
(オープン)



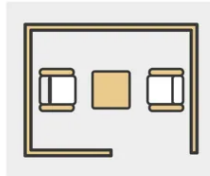
48.8%

2
一部が
囲われている



35.8%

3
囲われている



15.4%

「同僚とアイデア出しをするとき」
理想の”**座席配置**”は？ (n=500)

1
対面



45.6%

2
90度



25.6%

3
扇形



14.8%

4
横並び

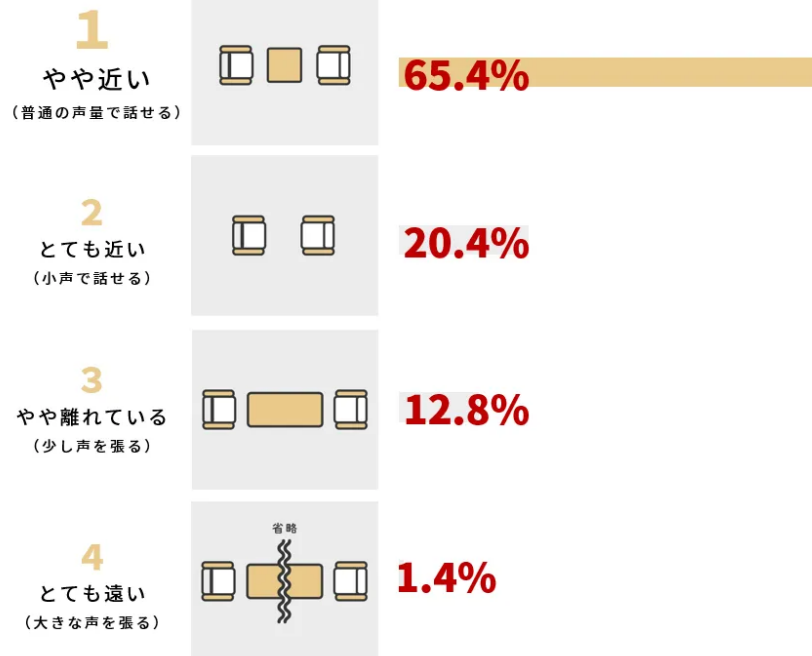


14.0%



同僚とアイデア出しをするとき

「同僚とアイデア出しをするとき」 理想の”相手との距離感”は？ (n=500)



「同僚とアイデア出しをするとき」 “理想のレイアウト”アンケート結果 (n=500)



“囲われ感”では「囲われていない（オープン）」「一部が囲われている」、「座席配置」では「対面」、「距離感」では「やや近い」が多数を占める結果となりました。

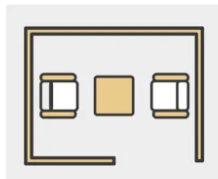


後輩に困っていることがないかヒアリングするとき

「後輩に困っていることがないかヒアリングするとき」

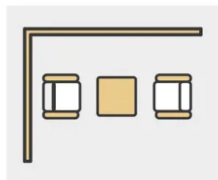
理想の”**囲われ感**”は？ (n=500)

1
囲われている



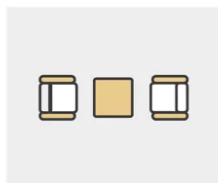
51.4%

2
一部が
囲われている



32.8%

3
囲われていない
(オープン)

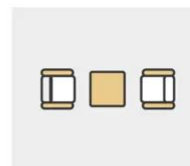


15.8%

「後輩に困っていることがないかヒアリングするとき」

理想の”**座席配置**”は？ (n=500)

1
対面



41.2%

2
90度



35.8%

3
横並び



12.2%

4
扇形



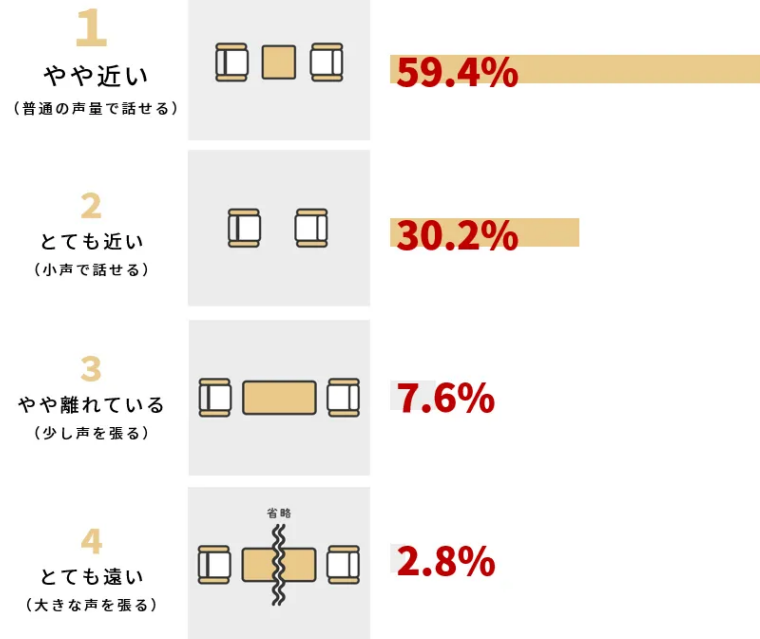
10.8%



後輩に困っていることがないかヒアリングするとき

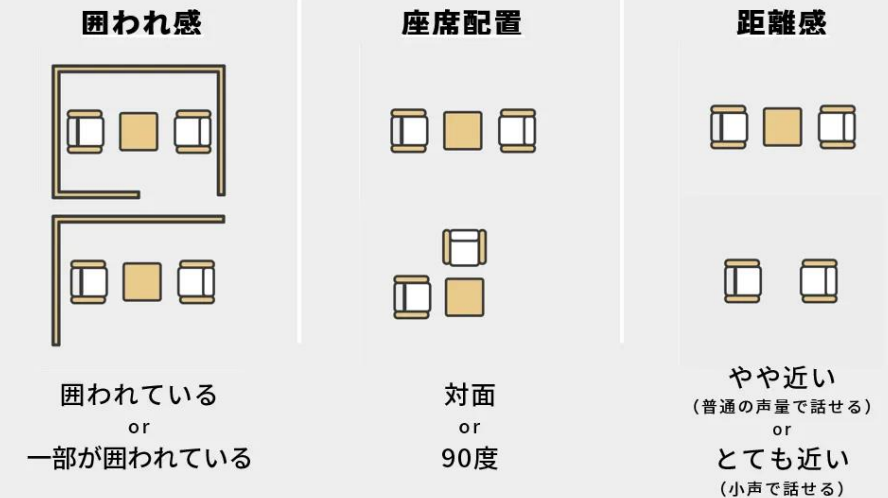
「後輩に困っていることがないかヒアリングするとき」

理想の”相手との距離感”は？ (n=500)



「後輩に困っていることがないかヒアリングするとき」

“理想のレイアウト”アンケート結果 (n=500)



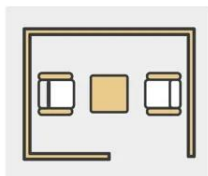
“囲われ感”では「囲われている」「一部が囲われている」、「座席配置」では「対面」「90度」、「距離感」では「やや近い」「とても近い」という結果になりました。



部門長へプレゼンするとき

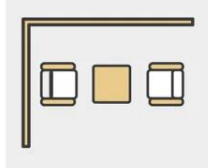
「部門長へプレゼンするとき」 理想の”**囲われ感**”は？ (n=500)

1
囲われている



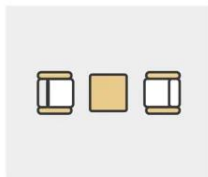
39.8%

2
一部が
囲われている



34.2%

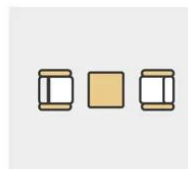
3
囲われていない
(オープン)



26.0%

「部門長へプレゼンするとき」 理想の”**座席配置**”は？ (n=500)

1
対面



63.4%

2
90度



21.2%

3
扇形



9.2%

4
横並び

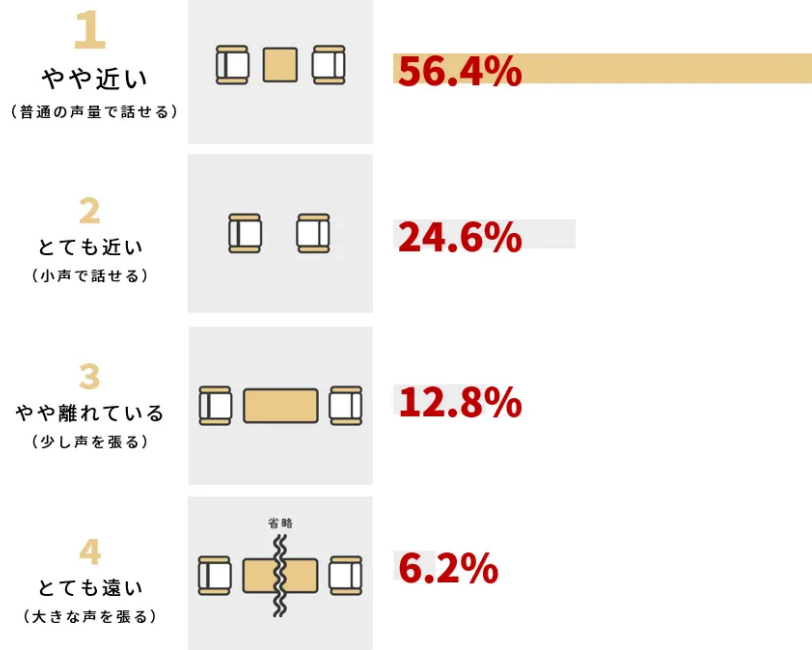


6.2%

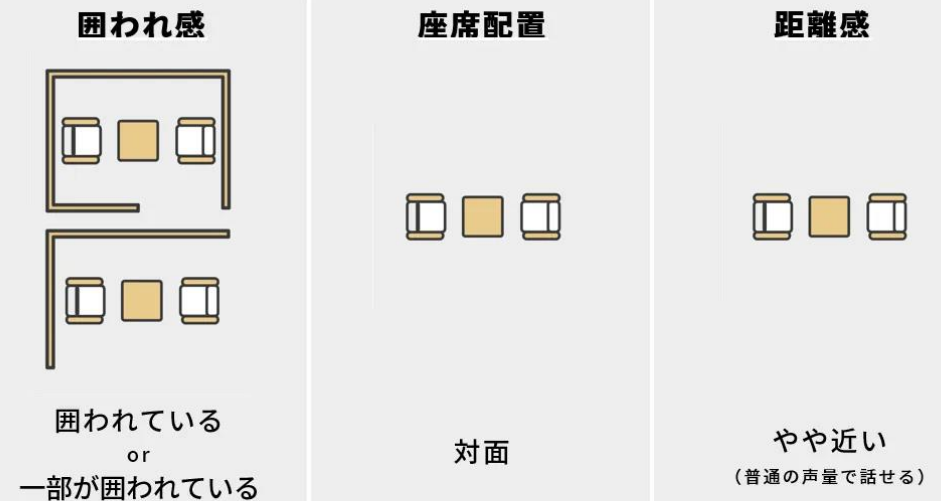


部門長へプレゼンするとき

「部門長へプレゼンするとき」 理想の”相手との距離感”は？ (n=500)



「部門長へプレゼンするとき」 “理想のレイアウト”アンケート結果 (n=500)



“囲われ感”では「囲われている」「一部が囲われている」、「座席配置」では「対面」、「距離感」では「やや近い」という結果になりました。

Theme | 自分が働く企業の“サステナ”活動

「サステナビリティ活動に積極的ではない」会社で働いている人は

エンゲージメントが81ptも低い

職場の居心地 WEB 調査



皆さんが勤める会社では、サステナビリティへの取り組みは行われていますか？

企業としてサステナビリティに取り組むことが当たり前とされる昨今。自分が勤める会社がサステナビリティ活動に積極的であることは、働く人の気持ちにどのような影響を与えるのでしょうか。

今回の調査では、会社員500名を対象に、「自分が働く企業のサステナビリティ活動」と、それに対する印象を尋ねるアンケート調査を実施しました。

[アンケート実施情報]

方法：インターネット調査

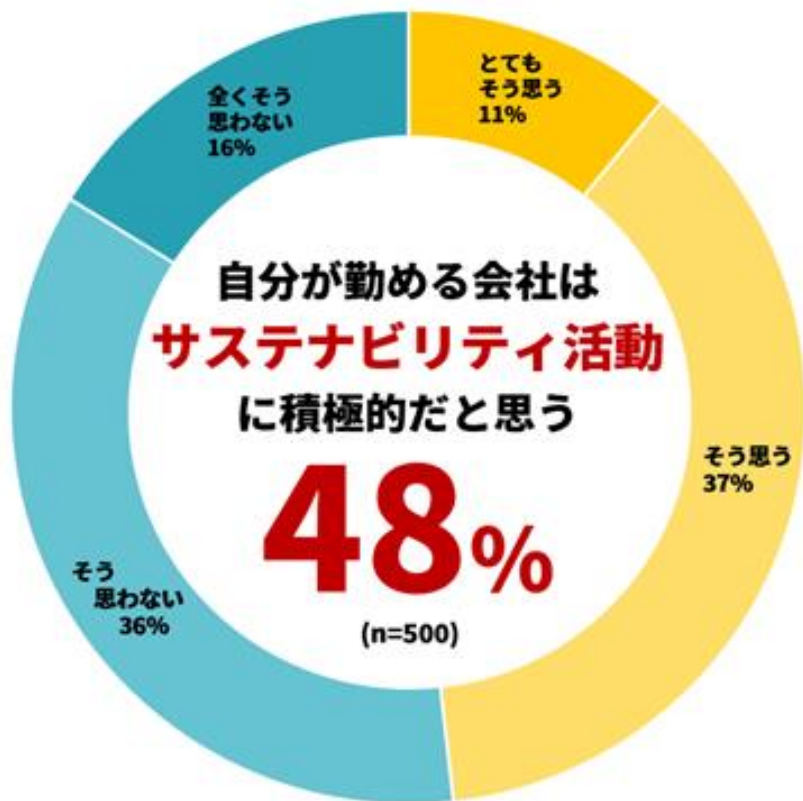
回収日：2024年8月8日

対象：デスクワークが中心の、オフィスワークとリモートワークの両方を行っている日本全国のハイブリットワーカー
サンプル数：500人

※本調査では、『サステナビリティ活動』の定義を「気候変動への対応など環境問題への取り組み」に限定しています。



あなたが勤める企業はサステナビリティへの取り組みに積極的だと思いますか？



自分が勤める会社は
サステナビリティ活動に積極的だと思う

48 %

はじめに、「あなたが勤める企業はサステナビリティへの取り組みに積極的であると思うか」と尋ねたところ、「とてもそう思う」「そう思う」の合計が48%、「そう思わない」「全くそう思わない」の合計が52%という結果でした。

Q

「自分が勤める会社はサステナビリティ活動に積極的だと思うか」

×

「この会社を親しい友人・知人に勧めたいと思うか」 クロス集計



次に、「現在勤める会社を親しい友人・知人に勧めたいと思いますか？」と尋ね、Q1とのクロス集計を行いました。結果、サステナビリティ活動に積極的だと「とても思う」「思う」と回答した群では「知人・友人にとても勧めたい」「勧めたい」が半数以上であったのに対し、「思わない」「全く思わない」と回答した群では「勧めたいと思わない」「全く勧めたいと思わない」が8割を上回る結果となりました。



あなたは、サステナビリティ活動に関して、企業に何を求めますか？

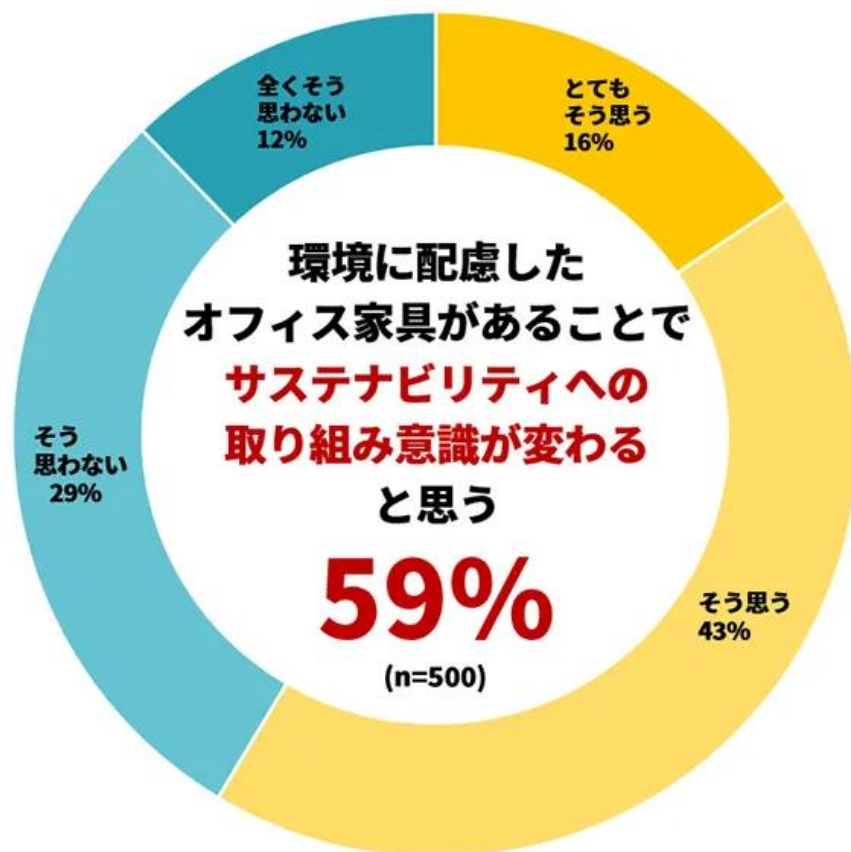
(サステナビリティへの取り組みについて企業に望むことがあると回答した356名の内訳／複数回答)



続いて、「サステナビリティ活動に関して企業に何を求めるか」と尋ね、「求めるものは何もない」の回答者を省いた356名について内訳をグラフ化しました。

最も多く票を集めたのは「職場やオフィスでの書類削減やごみの削減など、従業員ができる身近な取り組みを推進する」、続いて「オフィス環境やオフィス家具、事務用品などを環境に配慮したものへアップデートさせる」となりました。

環境に配慮したオフィス家具があることで、
サステナビリティへの取り組み意識が変わると思いますか？



環境に配慮したオフィス家具があることで、
サステナビリティへの取り組み意識が変わると思う

59 %

最後に、「環境に配慮したオフィス家具があることで、サステナビリティへの取り組み意識が変わると思うか」と尋ねたところ、「とてもそう思う」「そう思う」の合計が59%、「そう思わない」「全くそう思わない」の合計は41%となりました。

Theme | オフィスの収納

フリーアドレスのオフィスで
働いていても
デスクの収納は
ちゃんとほしい

78.4%

職場の居心地 WEB 調査



皆さんは、オフィスの収納庫をどのくらい活用していますか？

コロナ禍を契機にリモートワークやフリーアドレス制の導入が進んだことで、「以前ほどロッカーの扉を開けなくなった」という方も多いのではないのでしょうか。

そこで今回は、会社員500名を対象に「コロナ禍前後で収納庫の利用頻度が変化したか」や「フリーアドレス経験者とそうでない人との収納庫に対する意識の違い」などを調べるアンケート調査を実施しました。

[アンケート実施情報]

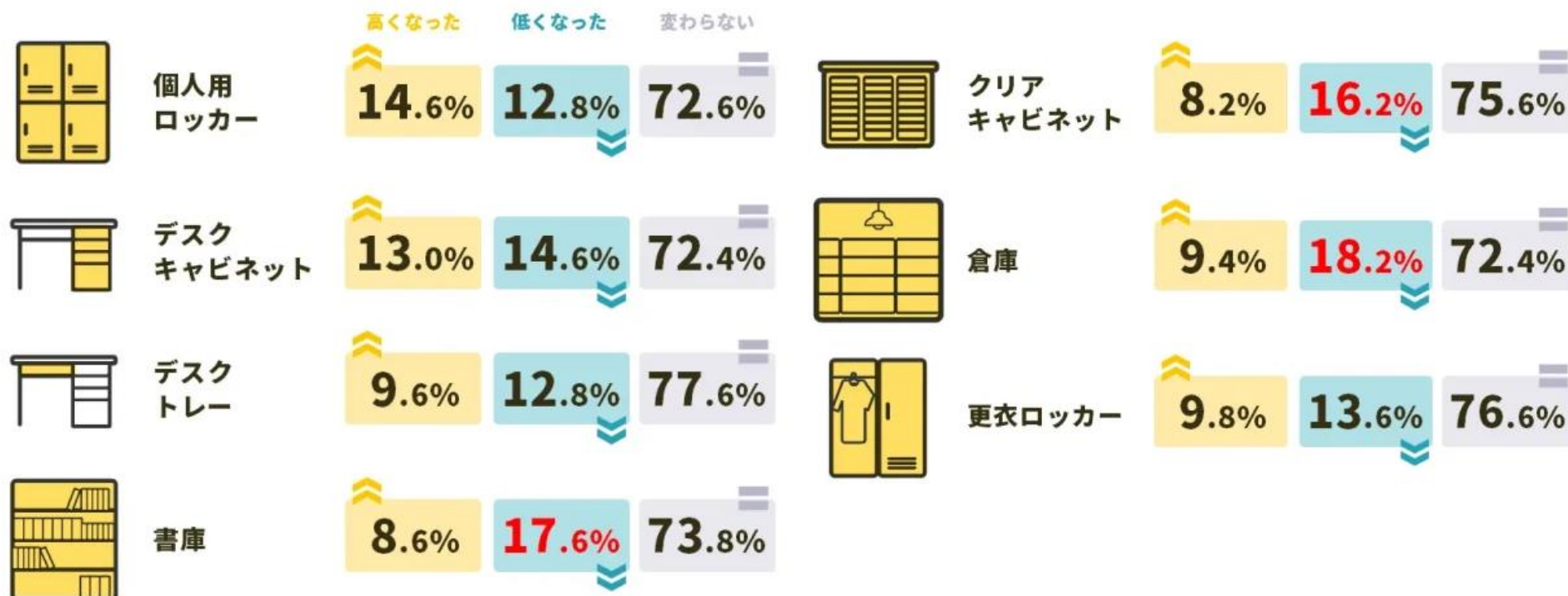
方法：インターネット調査

回収日：2024年7月24日

対象：デスクワークが中心で、従業員数100名以上の職場で働く勤続年数3年以上の会社員（フルリモートワークを除く）

サンプル数：500人

コロナ禍前後で、オフィスの収納庫の利用頻度に変化はありましたか？
それぞれお答えください。

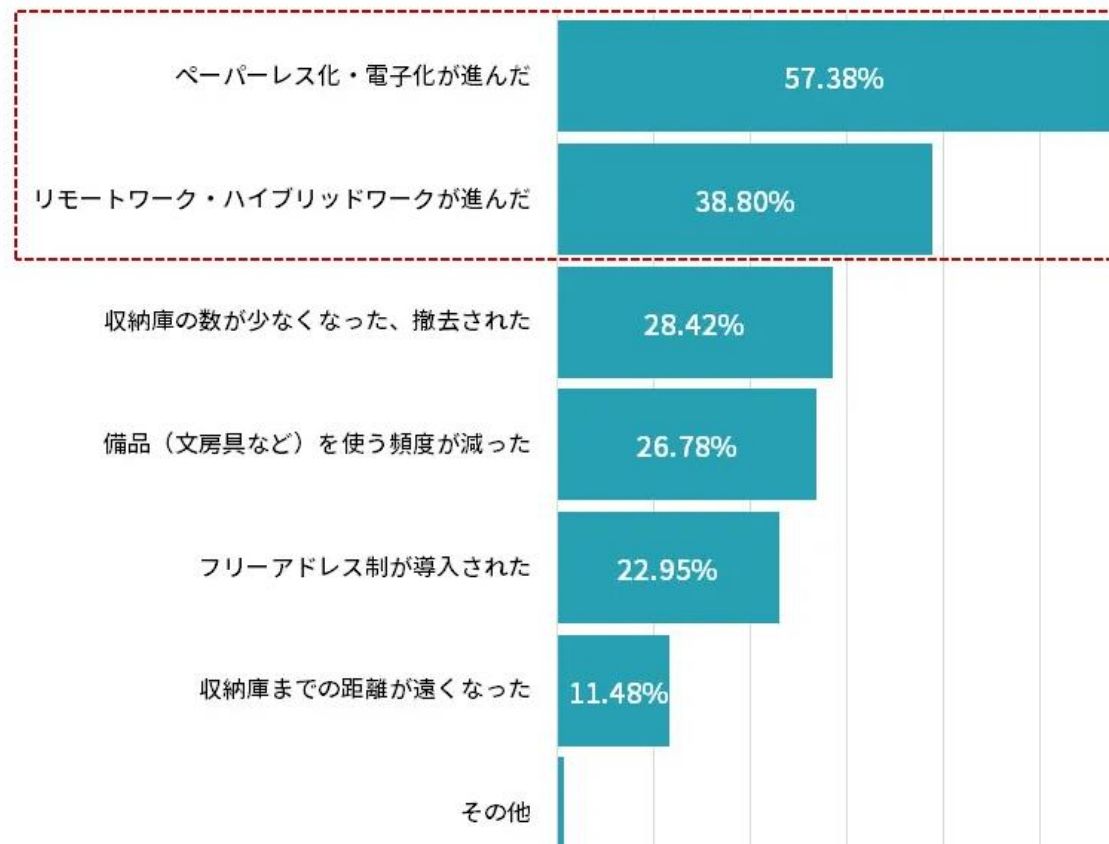


※「（頻度が）高くなった」「低くなった」の差が5ポイント以上のものを赤文字にしています

いずれの項目も約7割の人が「変わらない」と回答していますが、「書庫」「クリアキャビネット」「倉庫」については、コロナ前と比較して「利用頻度が低くなった」と感じている人が多いようです。

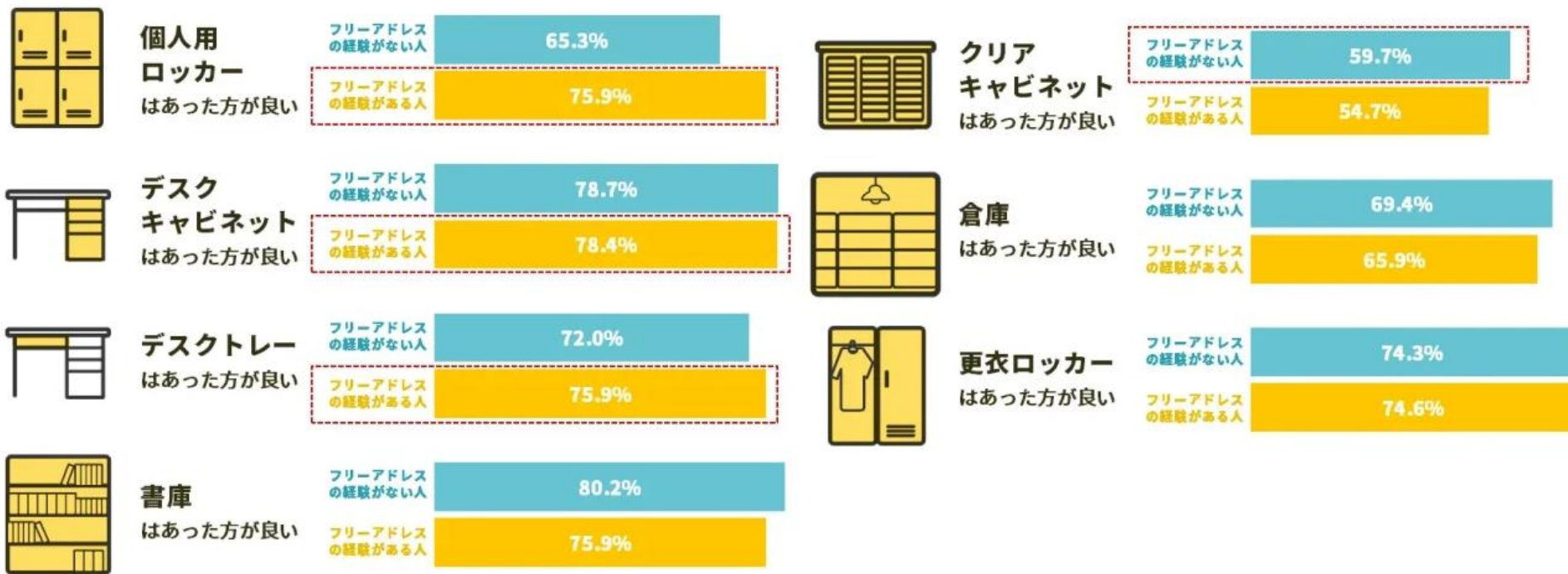
（いずれかの収納庫の利用頻度が「低くなった」と回答した人対象）
収納庫の利用頻度が低くなった理由をお答えください。

（n=183／複数回答）



次に、いずれかの収納庫の利用頻度が「低くなった」と回答した183名を対象に理由を尋ねたところ、約4割以上の人が「ペーパーレス化・電子化が進んだから」「リモートワーク・ハイブリッドワークが進んだから」と回答しました。

以下の収納庫について、「オフィスにあった方が良い（必要だ）」と思いますか？
それぞれお答えください。

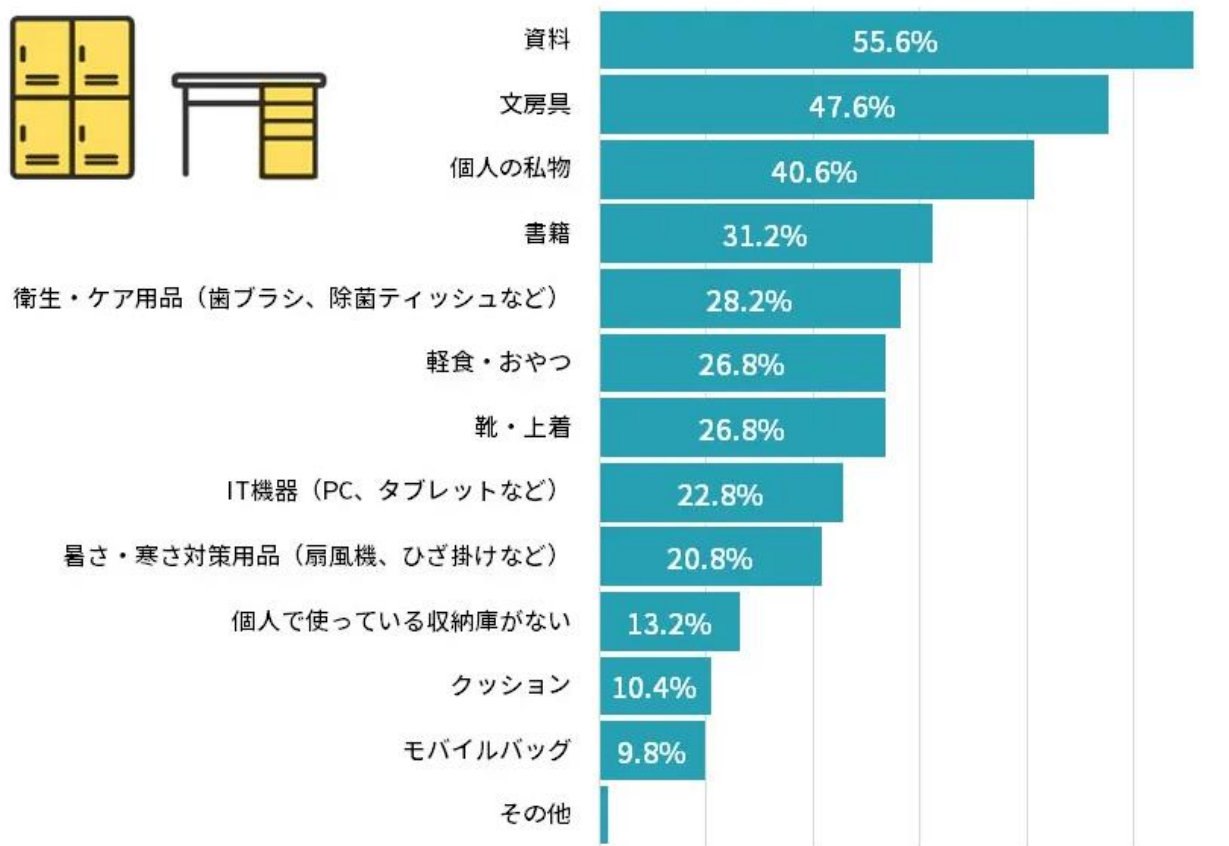


それぞれの収納庫について必要だと思うか尋ね、フリーアドレス経験のある群とない群とで集計しました。「個人用ロッカー」では、フリーアドレス経験ありの人がそうでない人と比較して「あった方が良い」が10ポイント以上高い結果となりました。

「デスクキャビネット」「デスクトレイ」は、フリーアドレスオフィスに設置されない場合がほとんどですが、フリーアドレス経験ありの人も約8割が「あった方が良い」と回答していました。



あなたは今、個人用ロッカーやキャビネットにどんなものを入れていますか？



続いて、ロッカーやキャビネットなど個人で保管・管理する収納庫に入れているものを具体的に尋ねたところ、「資料」が55.6%で最も高く、次に「文房具」47.6%、「個人の私物」40.6%、「書籍」31.2%と続きました。



オフィスの収納庫に関する困り事や、改善してほしいことを自由にお書きください。

【フリーアドレス未経験者】

■収納場所が足りない、収納庫が狭い

「**個人の収納も考えたオフィス設計**をしてもらいたい」

「定型的な書類やノートブックパソコン等の収納には適しているが、それ以外の**ちょっと嵩張るようなものは、入りきらないことが多く、不便である**」

■共有の収納スペースが不足している

「個人のスペースより、**共通で使うものを収納できるスペースが欲しい**」

■デザインをお洒落にしてほしい

「収納が足りない **お洒落さがなく仕事へのやる気が出ない**」

■雨の日の傘置き場に困っている

「雨の日の**傘などを置く場所が無い**」

■デスク周りにカバンを置く場所がない

「**カバンを置く場所がない**。個人ロッカーはありますが、カバンをしまうと私物を取り出すために毎回ロッカーに行って開け閉めしないといけない」

【フリーアドレス経験者】

■以前より収納庫が減り、不便になった

「ペーパーレス化に合わせて**収納スペースが減って収納庫まで遠くなった**」

「フリーアドレスになり、**私物を移動する手間が増えた**」

■自分のデスクがなくなってしまい不便になった

「フリーアドレスになった為、**自分好みのデスク周りにカスタマイズ出来なくなった**」

■デスク周りにカバンを置く場所がない

「自分の机のそばに**鞆などを置ける収納があると嬉しい**」

■収納庫のデザインを良くしてほしい

「できるだけ**同じメーカーのもので統一**すること」

「**収納庫自体のデザインを良くして**ほしい」

■イベント時や繁忙期に一時的に使える収納スペースが欲しい

「普段は収納に困らないが、**決算期の締め間際など、書類が増えて収納スペースの不足が起こる**」

Theme | フリーアドレスデスクの清潔さ

フリーアドレスデスクへの
移行によって、
職場の清潔さが
気になるようになった人

72%

職場の居心地 WEB 調査



オフィスは、単に働く場所ではなく、コミュニケーションやコラボレーションが生まれる大切な空間であり、特にオフィス内の清潔さや整頓状況などは居心地の良さに直結する重要な要素だと考えられます。一方で昨今の固定席からフリーアドレスデスクへの移行が進む環境下では、個人間の価値観の違いも影響し各々が抱えている悩みや本音があると想像します。

そこで今回は会社員500人を対象にオフィスの清潔さに関するアンケートを実施しました。

[アンケート実施情報]

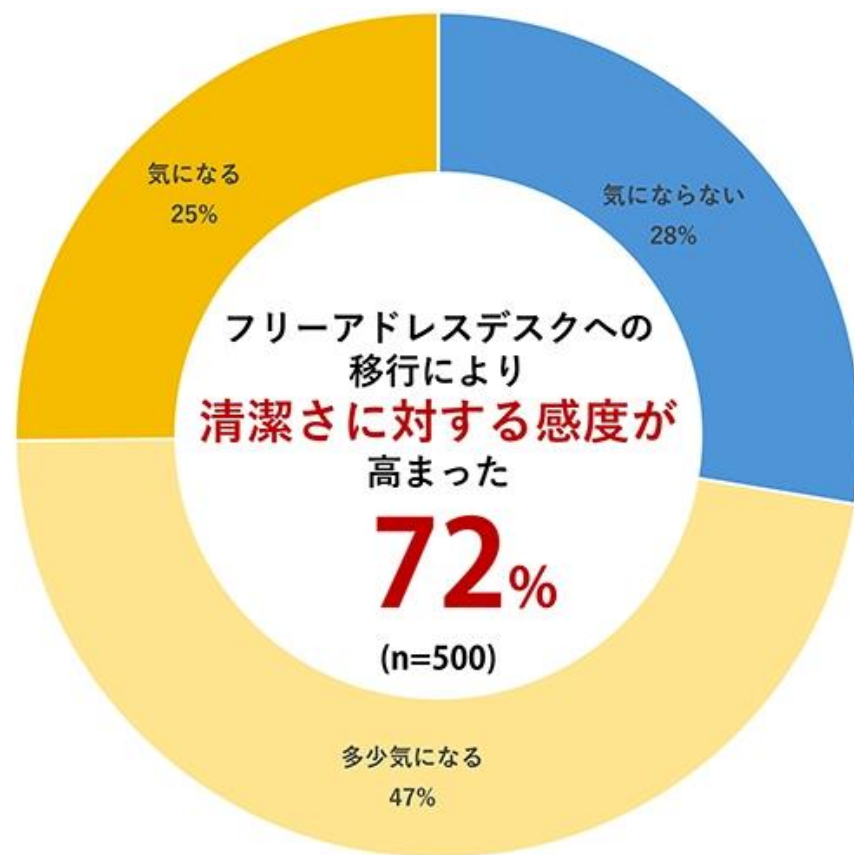
方法：インターネット調査

回収日：2024年11月5日

対象：過去に固定席で仕事をした経験があり、現在フリーアドレスデスクで働くオフィスワーカー。

デスクワークが中心の、オフィスワークとリモートワークの両方を行っている日本全国のハイブリットワーカー。

固定席からフリーアドレスデスクにかわり、
以前と比較してデスクやイス等の清潔さや状態を気にするようになりましたか？



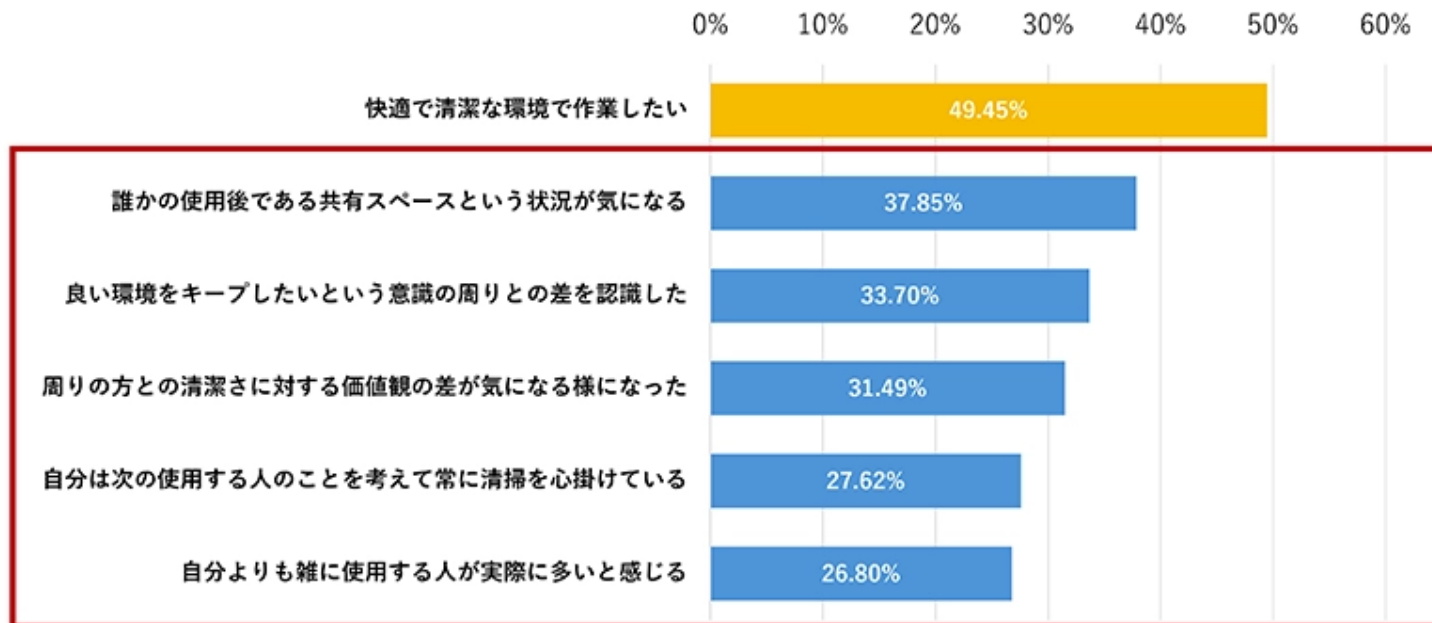
フリーアドレスデスクへの移行により 清潔さに対する感度が高まった

72 %

はじめに、「固定席からフリーアドレスデスクにかわり、以前と比較してデスクやイス等の清潔さや状態を気にするようになりましたか？」と尋ねたところ「気になる」「多少気になる」の合計が72%、「気にならない」28%という結果でした。

デスクの清潔さが以前よりも気になるようになった具体的な理由として当てはまるものをすべてお選びください。

(n=362／複数回答)



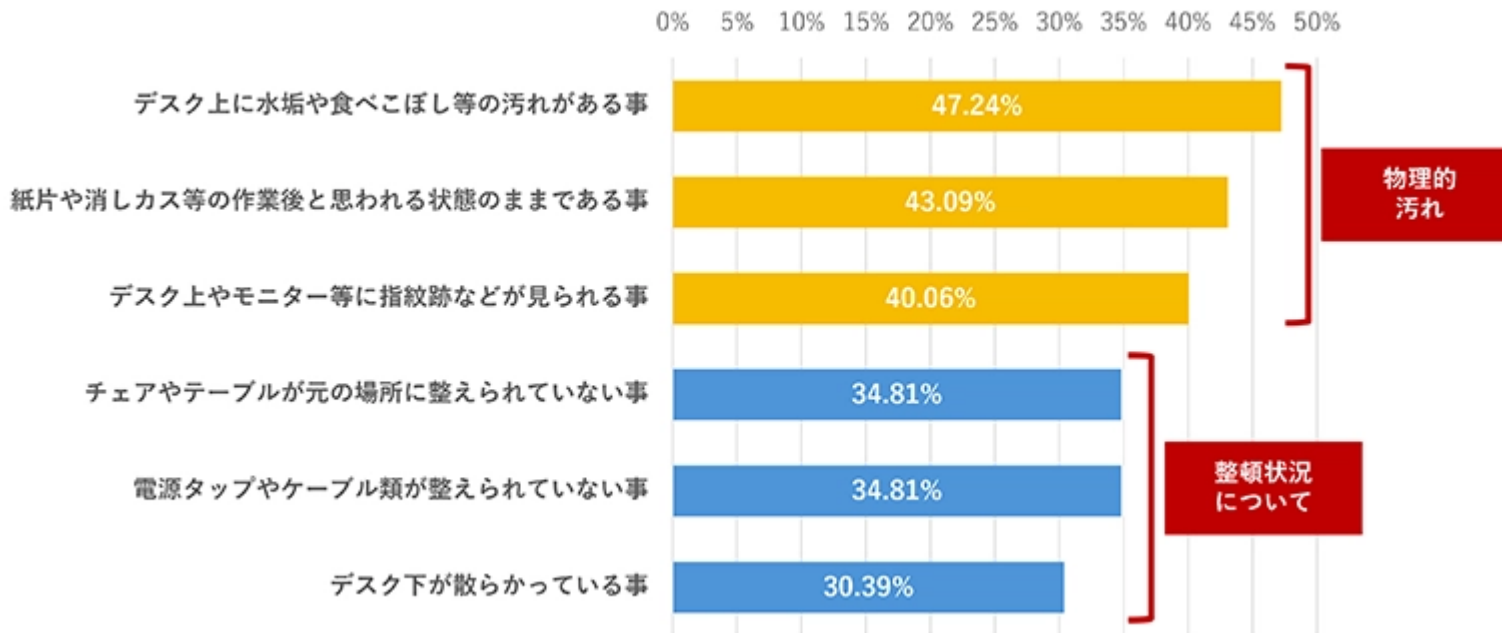
前設問で「気になる/多少気になる」と回答した方を対象に、複数回答でその具体的な理由を尋ねました。
上位の回答を抽出すると約半数の方が「快適で清潔な環境で作業したい」からという理由を選択しました。

一方で、2番目に多かった理由は「誰かの使用後である共有スペースという状況が気になる」という結果に。
またそれ以降も、他人とモノを共有することに対する不満や意識のギャップに悩む理由が選ばれており、
少し口には出しにくいような本音が見られた結果となりました。



清潔さや整頓状況という観点において、具体的にはどのような点を気にしたことがありますか？

(n=362／複数回答)



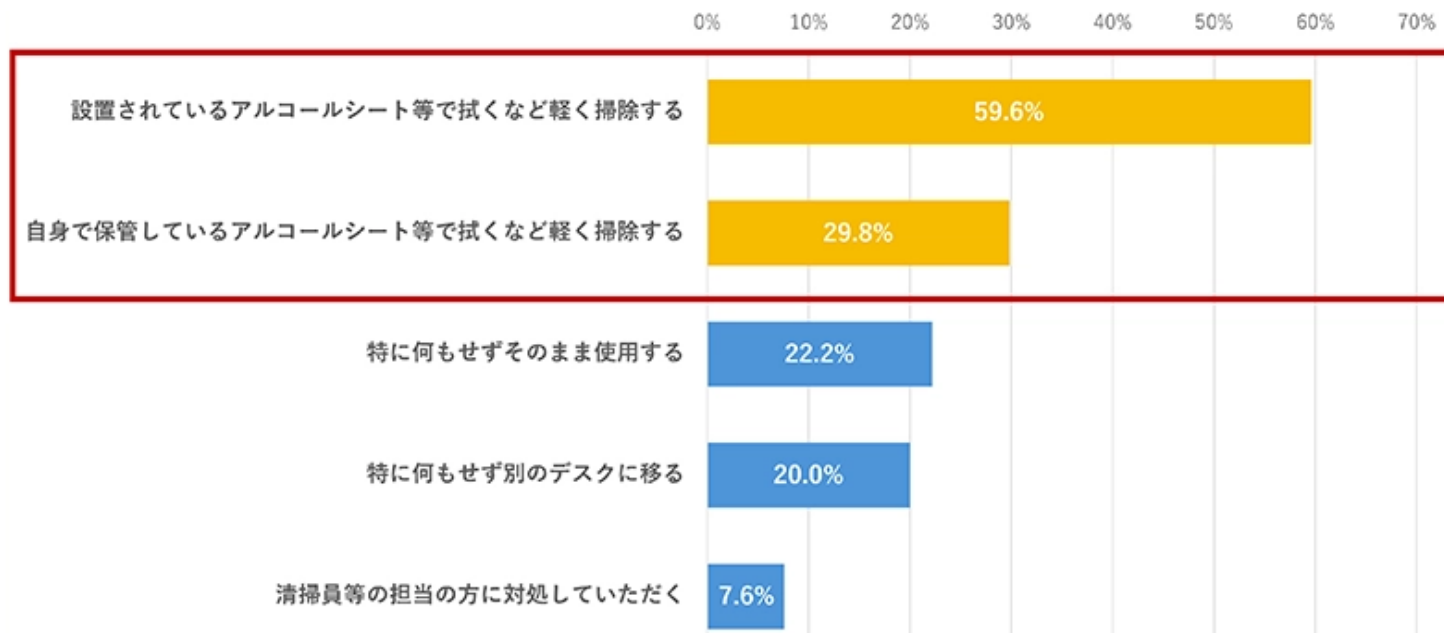
次続いて、「清潔さや整頓状況という観点で具体的に気にしたことの点」について尋ねました。

上位の3つにはデスク上の汚れや指紋跡など「物理的な汚れ」に対する回答が集中しました。続けて「整頓状況」に当たる結果が並ぶかたちとなっています。

オフィスで快適に仕事をする上では、物理的な清潔さだけでなく心にゆとりを持たせるための整頓も必要だと思われていますが、実際には目につく物理的な汚れがやはり気になるようですね。

フリーアドレスデスクの使用前や使用後に気になる箇所があった場合、何かご自身で対処していることはありますか？

(n=500／複数回答)



最後に、「フリーアドレスデスクの使用前や使用後に気になる箇所があった場合」の対処法について尋ねたところ、非常に多くの回答者が、設置されているアルコールシートや自身で持参したアルコールシートを使用してデスクの掃除を行うという選択肢を選んでいました。

単に汚れを気にしてそのままという訳ではなく、フリーアドレスデスクの利用者の多くが、日常的にデスクの清掃を行い衛生管理に努めていることがわかります。

Theme | 今年の忘年会、どうする？

職場の忘年会への参加に 前向きな従業員の割合

前年比

+19.2%

職場の居心地 WEB 調査



年末の訪れとともに、忘年会のシーズンも到来。交流という観点において、我々プラスも忘年会がどのような役割を担っているのか注目しております。

今回の調査では「忘年会の予定」や「忘年会に参加したいと思うか」を中心にアンケートを行い、1年前に行った同様の調査結果との比較を行いながら、最新の動向をご紹介します。

[アンケート実施情報]

方法：インターネット調査

回収日：2024年12月4日

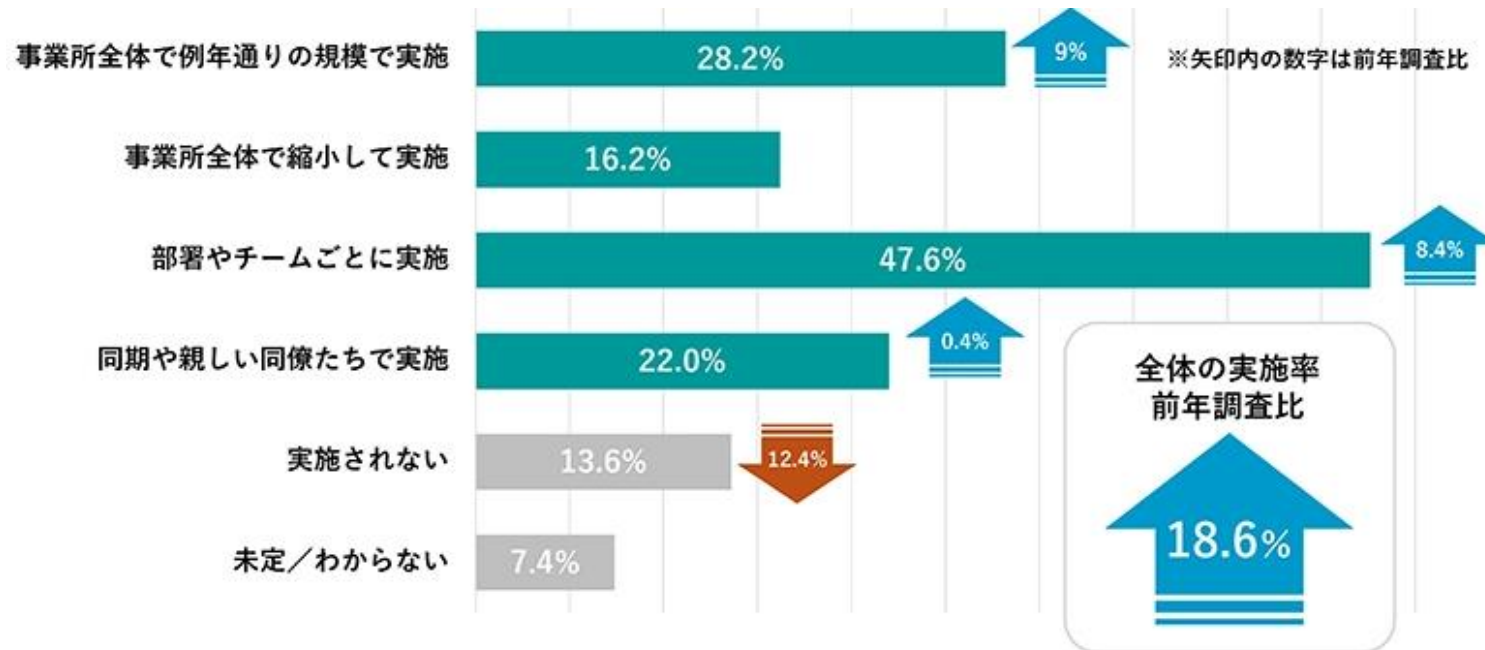
対象：デスクワークが中心の、オフィスワークとリモートワークの両方を行っている日本全国のハイブリットワーカー。

サンプル数：500人



あなたの職場では、今年の忘年会はどのように実施されますか？

(n=500／複数回答)



はじめに、「あなたの職場では、今年の忘年会はどのように実施されますか？」と尋ねました。「実施されない」「未定／わからない」を選択した場合は他の項目を選べなくなる複数回答形式で質問したところ、「実施されない」が13.6%、「未定／わからない」が7.4%という回答となりました。残りの79%の人は、職場の誰かと忘年会を行う予定があるという結果となり、前年の同調査の結果である60.4%と比較し18.6%の上昇となりました。



今年の忘年会に参加したいと思いますか？

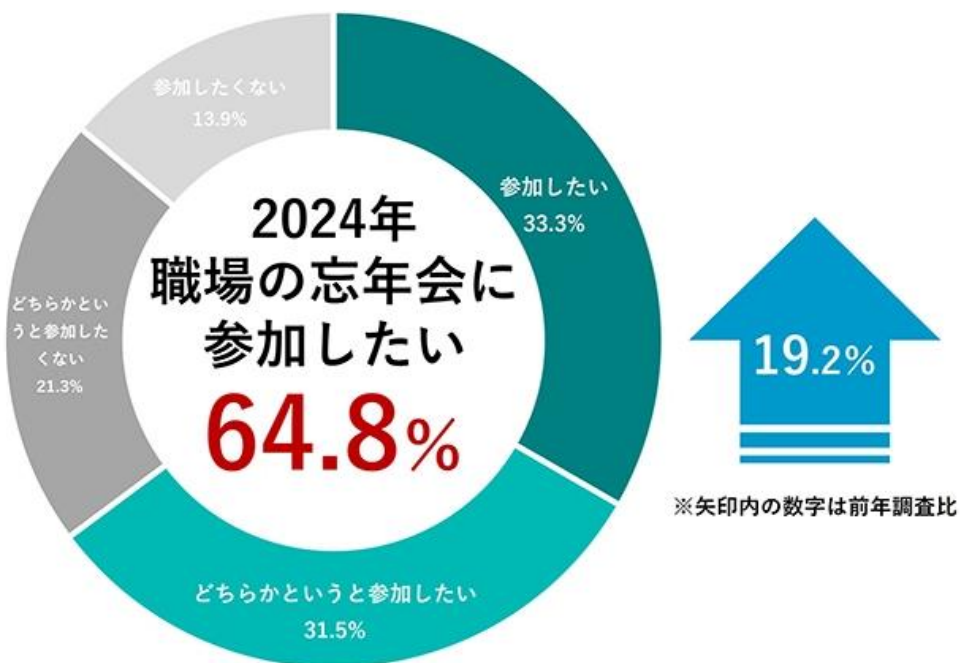
(n=432／複数回答)

2024年、職場の忘年会に参加したい

64.8 %

次に、Q1で忘年会が実施されないと回答した方を除く方を対象に、職場の忘年会に参加したいと思うかを尋ねたところ、「参加したい」「どちらかというに参加したい」と回答した人は64.8%、「参加したくない」「どちらかというに参加したくない」と回答した人は35.2%という結果になりました。

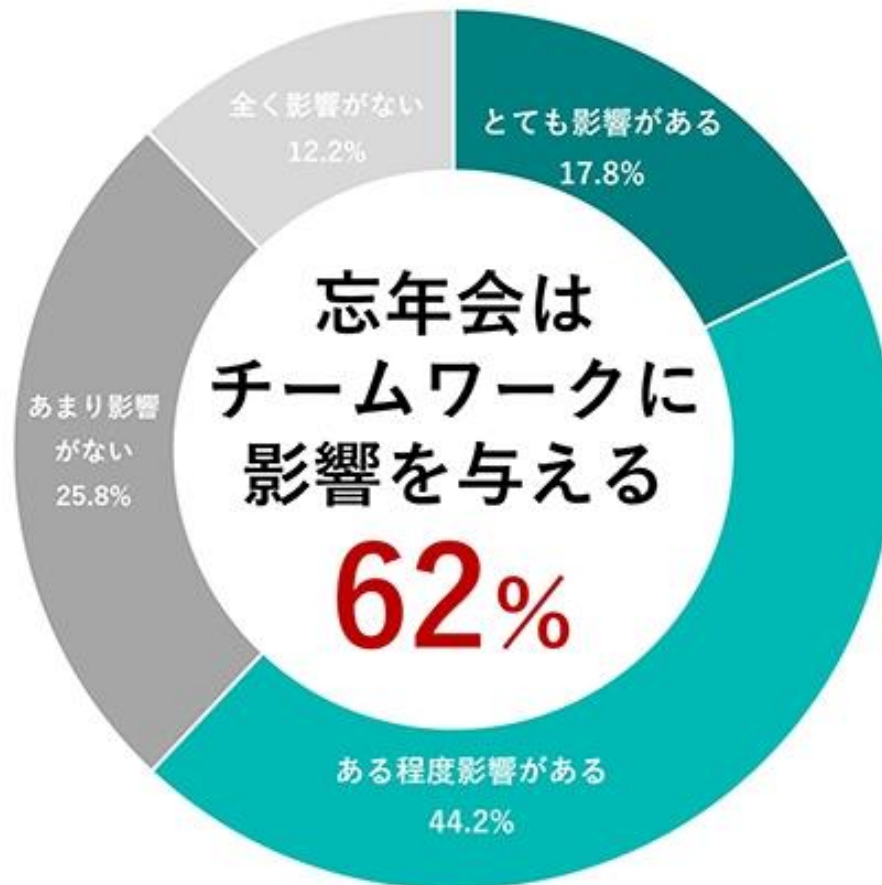
前年実施した同じ質問に対する回答(n=500)と比較すると「参加したい」と回答した方は+19.2%という結果となりました。





忘年会が職場のチームワークや文化にどの程度影響を与えとお考えですか？

(n=500)



忘年会はチームワークに影響を与える

62.0 %

続いて、「職場のチームワークや文化に対する忘年会の影響度」について尋ねました。

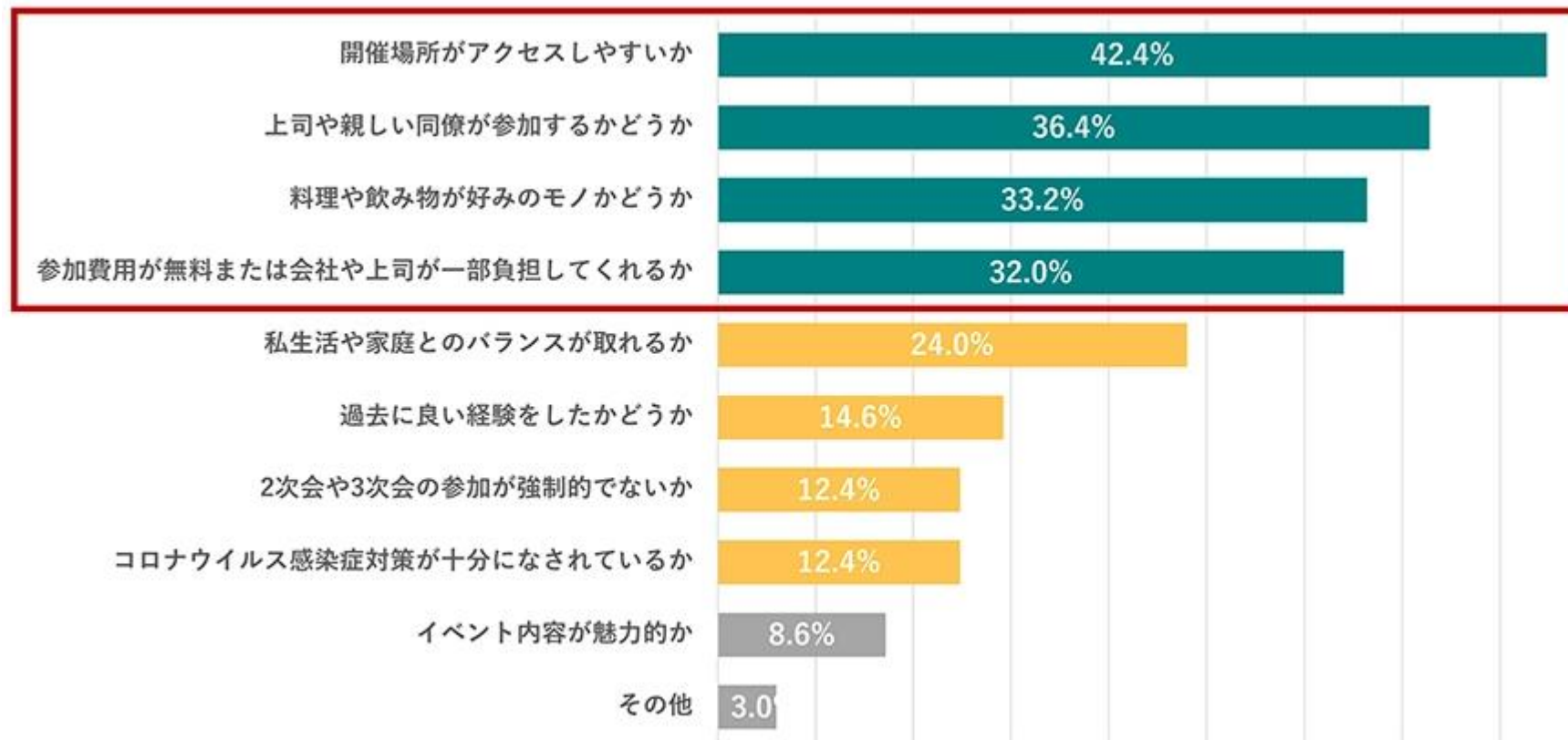
半数以上となる62%の方々が「とても影響がある」「ある程度影響がある」と回答する結果となりました。

忘年会に限らず、業務外のコミュニケーションはチームワークや文化への影響があると思われるようです。そしてこの認識は忘年会の参加意欲や、開催有無に関わっていると考えられます



忘年会に参加するかどうかを決める要因はどれですか？

(n=500／複数回答)



最後に「忘年会に参加するかどうかを決める要因」について尋ねました。3割を超えた回答は「開催場所」「参加メンバー」「食事内容」「費用」でした。一方「コロナウイルス感染症対策」は12.4%に留まっており、以前の重要性が薄れていることが伺えます。